



# 大町市 創業支援協議会 生涯現役環境づくり部会

2023Sep07ver1.1

## 令和5年度 生涯現役環境状況調査

# 大町市のシニア世代(60歳以上)を対象とした 社会参加・生きがい等に関するアンケート調査結果報告

### ◇ 調査実行・責任団体 ◇

- ・団体名称: 大町市産業観光部商工労政課
- ・所在地 : 長野県 大町市大町 3887
- ・TEL : (0261) 22-0420 内線542
- ・Fax : (0261) 23-4660
- ・e-Mail : syoukou@city.omachi.nagano.jp
- ・団体名称: 大町市創業支援協議会生涯現役環境づくり部会
- ・所在地 : 長野県 大町市大町 3206-14
- ・TEL : (0261) 85-4755
- ・Fax : (0261) 85-4756
- ・e-Mail : info@omachi-geneki.org

# 目次

## 1 アンケート調査の概要

- ① 調査の目的 .....P4
- ② 調査詳細 .....P5
- ③ 調査項目の内容 .....P6
- ④ 調査回答集計一覧 I～III .....P7～P9

## 2 調査回答データの整合性検証

- ① 調査回答者の性別・年代構成比率 .....P11
- ② 調査回答者の居住地域・年代構成比率 .....P12

## 3 シニア世代の社会参加状況

- ① 「就労」状況 .....P14
- ② 「ボランティア活動」参加状況 .....P15
- ③ 「生きがいづくり活動」参加状況 .....P16
- ④ シニア世代の多面的(multi)活躍状況 .....P17
- ⑤ 多様な社会参加実態の変化状況 .....P18

## 4 シニア世代の社会参加意欲

- ① 「就労」意欲 .....P20
- ② 「就労」理由・目的 .....P21
- ③ 「就労」希望条件 .....P22
- ④ 「就労」希望業種・保有資格 .....P23
- ⑤ 「就労」を希望しない理由 .....P24
- ⑥ 「創業・起業」意欲 .....P25
- ⑦ 「ボランティア活動」意欲 .....P26
- ⑧ 「ボランティア活動」参加希望の理由・目的 .....P27
- ⑨ 「ボランティア活動」を希望しない理由 .....P28
- ⑩ 「生きがいづくり活動」意欲 .....P29
- ⑪ 「生きがいづくり活動」参加希望の理由・目的 .....P30
- ⑫ 「生きがいづくり活動」を希望しない理由 .....P31

## 5 大町市創業支援協議会 生涯現役環境づくり部会について

- ① 生涯現役環境づくり活動の認知度 .....P33

## 6 調査目的に対する分析結果の検証・考察

- ① 確認・検証項目 I .....P35
- ② 確認・検証項目 II .....P36
- ③ 確認・検証項目 III .....P37

## 7 令和5年度 生涯現役環境状況調査 総括

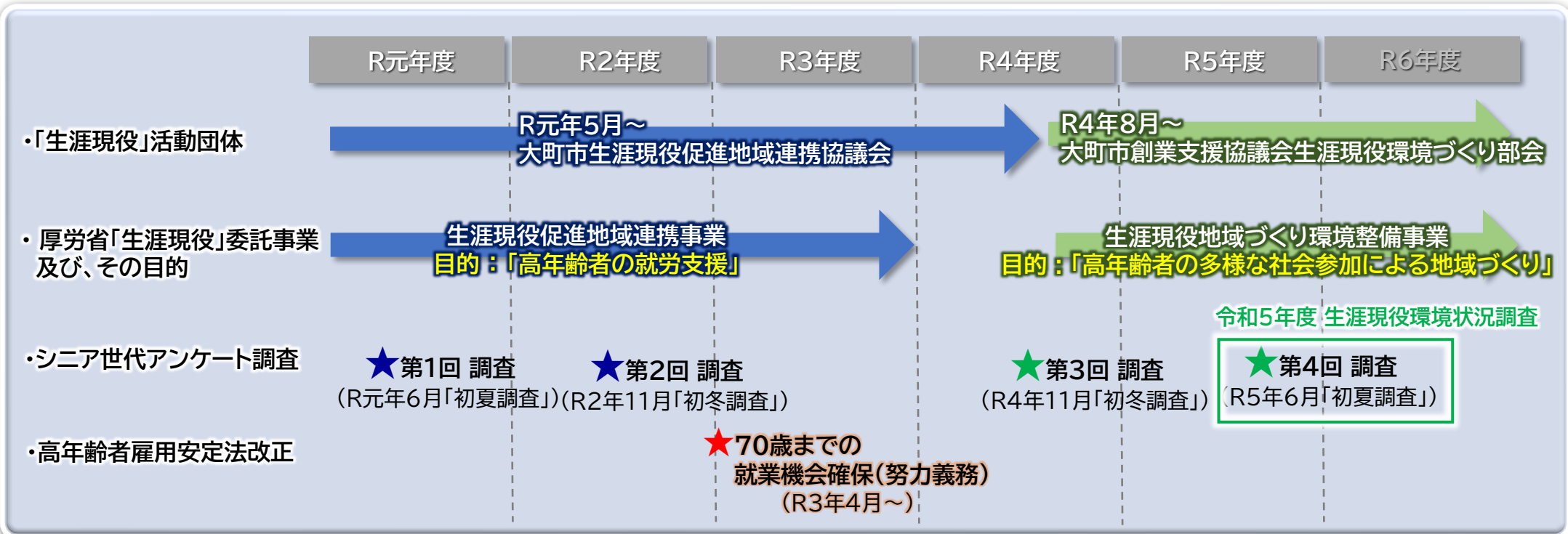
- ① 調査結果の総括 .....P39

# Ⅰ アンケート調査の概要

# 1-① 調査の目的

生涯現役環境づくり事業を永続させるため、活動の基礎となる基本的データの収集と過去に実施した同様の調査結果との比較により、地域シニア世代における**多様な社会参加手段に関する支援ニーズを正確に把握**する。

- ① 高年齢者雇用安定法の改正に伴う、定年年齢の引き上げ、延長雇用制度の拡大等、シニア世代における就労環境の変化を背景に就労意欲・就労支援ニーズを前年と異なる時期に調査し、比較することにより調査内容の精度を向上させる。
- ② 有償・無償ボランティア、創業・起業、生きがいづくりに関する参加実態・支援ニーズを正確に把握する。
- ③ 地域における生涯現役事業の知名度と定着度等、生涯現役風土づくりの状況を把握する。

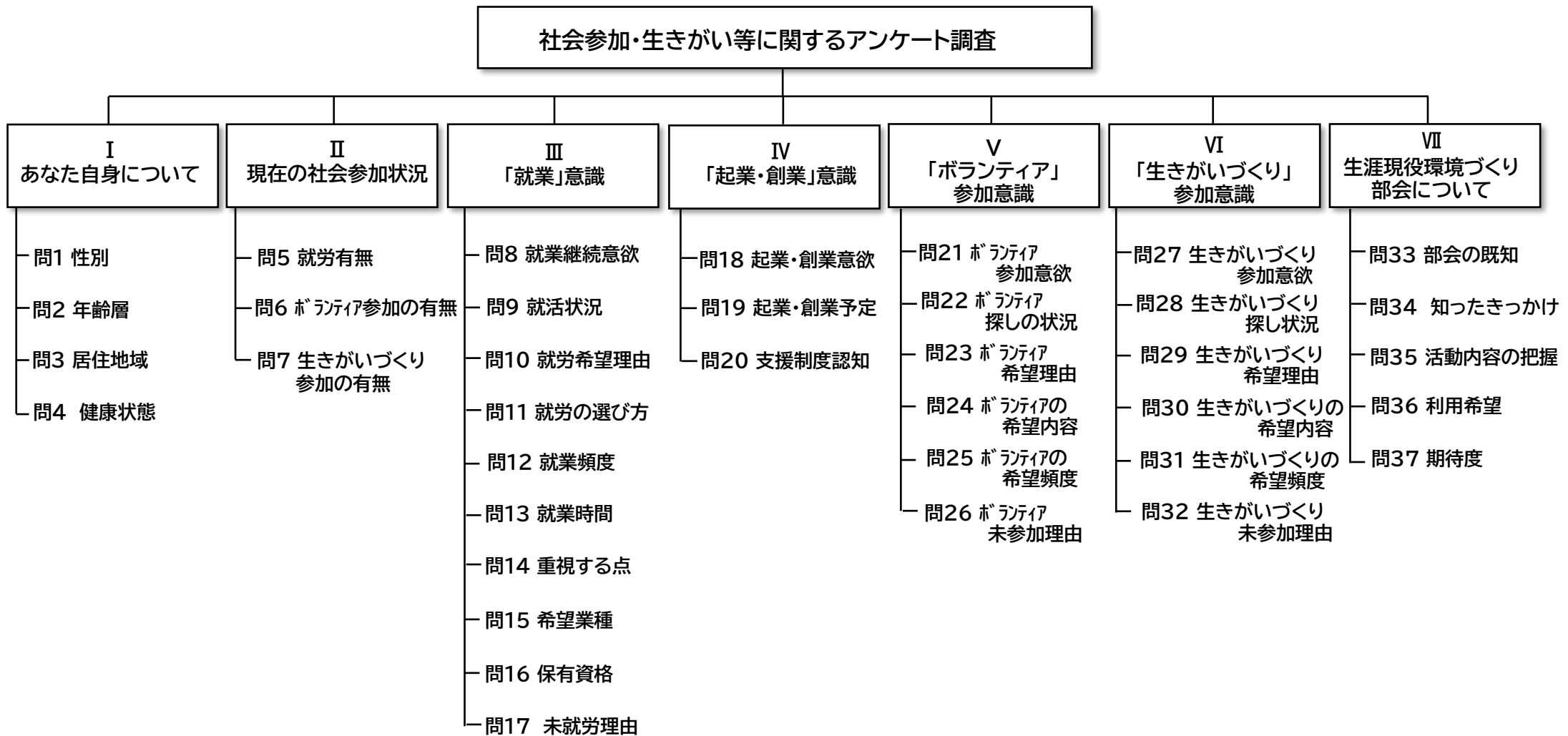






# 1-③ 調査項目の内容

7分類、37の設問にてアンケート調査を実施(前年度同様)



# 1-④ 調査回答集計一覧 I

I あなたご自身について教えてください。

問1 性別		N	%
1	男性	425	45.7
2	女性	502	54.0
n	未回答	2	0.2
		929	100.0

問2 年齢層		N	%
1	60～64歳	144	15.5
2	65～69歳	197	21.2
3	70～74歳	288	31.0
4	75～79歳	237	25.5
5	80歳以上	59	6.4
n	未回答	4	0.4
		929	100

問3 居住地域		N	%
1	大町	424	45.6
2	平	166	17.9
3	常盤	207	22.3
4	社	81	8.7
5	八坂	26	2.8
6	美麻	18	1.9
n	未回答	7	0.8
		929	100

問4 健康状態		N	%
1	健康であり、日常生活も外出も問題なし	386	41.6
2	定期的な受診・検診が必要	355	38.2
3	持病があり通院中	157	16.9
4	杖などの介助具が必要	16	1.7
5	日常生活で介助・介護が必要である	2	0.2
6	その他	4	0.4
n	未回答	9	1.0
		929	100

II 現在のお仕事などについて教えてください。

問5 現在の仕事		N	%
1	はい、正社員、契約社員で仕事をしています	159	17.1
2	はい、短時間労働者として仕事をしています	181	19.5
3	はい、時々仕事をしています	45	4.8
4	はい、自営で仕事をしています	152	16.4
5	いいえ、仕事をしていません	385	41.4
n	未回答	7	0.8
		929	100

問6 現在のボランティア活動		N	%
1	はい、無償ボランティアに登録・参加しています	67	7.2
2	はい、有償ボランティアに登録・参加しています	17	1.8
3	はい、出来る範囲で自発的にしています	115	12.4
4	いいえ、ボランティア活動をしていません	721	77.6
n	未回答	9	1.0
		929	100

問7 現在の生きがいづくり		N	%
1	はい、生涯学習・教養サークルに参加しています	27	2.2
2	はい、運動・スポーツクラブ等に参加しています	136	10.9
3	はい、趣味のグループ活動に参加しています	136	10.9
4	はい、自治会の活動等に参加しています	172	13.8
5	はい、シニアクラブ連合会に参加しています	20	1.6
6	はい、友人との交流・行動を楽しんでいます	298	24.0
7	いいえ、生きがいづくり活動に参加していません	444	35.7
n	未回答	11	0.9
		1244	100

III 「お仕事」についてあなたのお考えを教えてください。

問8 就労意識		N	%
1	現在の仕事を継続したい	384	41.3
2	現在の仕事をやめた後、新たな仕事をしたい	45	4.8
3	現在、無職だが今後仕事を探したい	45	4.8
4	現在の仕事をやめた後、仕事をしない	44	4.7
5	現在、無職で今後も仕事をしない	285	30.7
n	未回答	126	13.6
		929	100.0

問9 就労意欲		N	%
1	はい	21	2.3
2	いいえ	152	16.4
n	未回答	756	81.4
		929	100

問10 就労希望理由		N	%
1	収入を得たい	264	28.4
2	健康に良いと思う	100	10.8
3	社会との繋がりが	61	6.6
4	社会への貢献	37	4.0
5	新たな挑戦	4	0.4
6	仲間づくり	6	0.6
7	その他	7	0.8
n	未回答	450	48.4
		929	100

問11 就労選択		N	%
1	経験のある仕事	48	5.2
2	新たな仕事	9	1.0
3	こだわりは無い	76	8.2
n	未回答	796	85.7
		929	100

問12 希望就労頻度		N	%
1	5日/週	27	2.9
2	3～4日/週	84	9.0
3	1～2日/週	25	2.7
n	未回答	793	85.4
		929	100.0

問13 希望就労時間		N	%
1	8時間	19	2.0
2	5～7時間	33	3.6
3	3～5時間	72	7.8
4	1～3時間	12	1.3
n	未回答	793	85.4
		929	100.0

問14 職場のこだわり		N	%
1	同年代職場	12	1.3
2	安全	37	4.0
3	高齢者配慮	43	4.6
4	経験歓迎	33	3.6
n	未回答	804	86.5
		929	100

# 1-④ 調査回答集計一覧 Ⅱ

V 「ボランティア活動」についてあなたのお考えを教えてください。

問21 ボランティア思考		N	%
1	現在のボランティアを継続したい	148	15.9
2	現在の仕事をやめた後ボランティア活動をしたい	96	10.3
3	現在、ボランティア活動への参加を希望している	33	3.6
4	現在の仕事をやめた後ボランティア活動をしたくない	140	15.1
5	現在も今後もボランティア活動をしたくない	354	38.1
n	未回答	158	17.0
		929	100.0

問22 ボランティア意欲		N	%
1	はい	37	4.0
2	いいえ	141	15.2
n	未回答	751	80.8
		929	100.0

問23 ボランティア理由		N	%
1	時間の有効活用	20	2.2
2	健康に良いと思う	25	2.7
3	社会との繋がり	91	9.8
4	社会への貢献	104	11.2
5	新たな挑戦	8	0.9
6	仲間づくり	27	2.9
7	その他	5	0.5
n	未回答	649	69.9
		929	100.0

問24 ボランティア選択		N	%
1	高齢者関連	28	3.0
2	障がい者関連	10	1.1
3	子ども関連	26	2.8
4	地域づくり関連	86	9.3
5	その他	14	1.5
n	未回答	765	82.3
		929	100.0

問25 ボランティア頻度		N	%
1	1~3回/年	28	3.0
2	1~3回/月	109	11.7
3	1~3回/週	25	2.7
n	未回答	767	82.6
		929	100.0

問17 仕事をしない理由		N	%
1	体力・運動力に自信がない	156	14.1
2	体調(通院・治療等)が悪く難しい	87	7.8
3	通勤手段が無いから	27	2.4
4	やりたい事(趣味・ボランティア等)があるから	104	9.4
5	介護・看護が必要な家族(親族)がいる	36	3.2
6	年金が減ってしまう可能性があるから	15	1.4
7	仕事をしたいが求人が無いと思う	30	2.7
8	仕事をしたいが採用されないと思う	41	3.7
9	感染症のリスクがあるから	58	5.2
10	その他	1	0.1
n	未回答	554	50.0
		1109	100.0

IV 「創業・企業」についてあなたのお考えを教えてください。

問18 創業・起業思考		N	%
1	最近(5年以内)に創業・起業しました	14	1.5
2	現在の仕事をやめた後、創業・起業したい	22	2.4
3	現在無職だが今後創業・起業したい	4	0.4
4	現在の仕事をやめた後、創業・起業をしたくない	362	39.0
5	現在無職で今後も創業・起業をしたくない	336	36.2
n	未回答	191	20.6
		929	100.0

問19 創業・起業予定		N	%
1	2年以内	3	0.3
2	5年以内	3	0.3
3	未定	25	2.7
n	未回答	898	96.7
		929	100.0

問20 創業支援制度認知		N	%
1	はい	9	1.0
2	いいえ	40	4.3
n	未回答	880	94.7
		929	100.0

問15 希望業種		N	%
1	農業・林業	32	3.0
2	商業(小売り)	40	3.7
3	商業(卸)	9	0.8
4	製造業(工業系)	13	1.2
5	製造業(電気・電子系)	5	0.5
6	製造業(食品系)	22	2.1
7	建築・土木業	9	0.8
8	不動産業	3	0.3
9	金融・保険業	4	0.4
10	医療・福祉・介護	25	2.3
11	宿泊・観光業	27	2.5
12	飲食・サービス業	39	3.6
13	情報・通信業	7	0.7
14	運輸業	7	0.7
15	情報技術開発業	1	0.1
16	その他	26	2.4
n	未回答	804	74.9
		1073	100.0

問16 保有資格		N	%
1	普通自動車・自動二輪・原付	166	14.3
2	看護・准看護師	9	0.8
3	介護福祉士・ヘルパー	12	1.0
4	調理師・衛生管理者	26	2.2
5	栄養士	11	0.9
6	建築士	4	0.3
7	建築施工管理技士	7	0.6
8	電気工事士	31	2.7
9	電気主任技術者	3	0.3
10	会計士・税理士・社労士	1	0.1
11	教員	12	1.0
12	幼稚園教諭・保育士	5	0.4
13	ボイラー技士	3	0.3
14	危険物取扱	19	1.6
15	大型車両運転	26	2.2
16	特種車両運転	16	1.4
17	二種運転免許	7	0.6
18	フォークリフト	24	2.1
19	測量士	1	0.1
20	その他	18	1.6
n	未回答	758	65.4
		1159	100.0

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはなりません。



# 1-④ 調査回答集計一覧 Ⅲ

問26 ボランティアをしない理由		N	%
1	体力・運動力に自信がない	237	20.3
2	体調(通院・治療等)が悪く難しい	108	9.3
3	通勤手段が無いから	31	2.7
4	仕事をしたいから	124	10.6
5	報酬が無い(少ない)から	45	3.9
6	登録・申込方法を知らないから	26	2.2
7	どんなボランティアがあるか知らない	116	10.0
8	その他	106	9.1
n	未回答	372	31.9
		1165	100.0

## VI 「生きがいづくり活動」についてあなたのお考えを教えてください。

問27 生きがいづくり思考		N	%
1	現在の生きがいづくり活動を継続したい	210	22.6
2	現在の仕事をやめた後生きがいづくり活動をし	136	14.6
3	現在生きがいづくり活動参加を希望している	39	4.2
4	現在の仕事をやめた後生きがいづくり活動をし	97	10.4
5	現在も今後も生きがいづくり活動をしない	250	26.9
n	未回答	197	21.2
		929	100.0

問28 生きがいづくり意欲		N	%
1	はい	60	6.5
2	いいえ	166	17.9
n	未回答	703	75.7
		929	100.0

問29 生きがいづくり理由		N	%
1	時間の有効活用	41	4.4
2	健康に良いと思う	110	11.8
3	社会との繋がり	118	12.7
4	自己啓発	38	4.1
5	新たな挑戦	23	2.5
6	仲間づくり	69	7.4
7	その他	6	0.6
n	未回答	524	56.4
		929	100.0

問30 生きがいづくり選択		N	%
1	生涯学習	66	7.1
2	運動・スポーツ	64	6.9
3	趣味の集い	107	11.5
4	その他	23	2.5
n	未回答	669	72.0
		929	100.0

問31 生きがいづくり頻度		N	%
1	1~3回/年	23	2.5
2	1~3回/月	182	19.6
3	1~3回/週	53	5.7
n	未回答	671	72.2
		929	100.0

問32 生きがいづくりをしない理由		N	%
1	体力・運動力に自信がない	168	15.8
2	体調(通院・治療等)が悪く難しい	85	8.0
3	通勤手段が無いから	25	2.4
4	仕事をしたいから	69	6.5
5	報酬が無い(少ない)から	9	0.8
6	登録・申込方法を知らないから	79	7.4
7	どんな生きがいづくりがあるか知らない	97	9.1
8	その他	0	0.0
n	未回答	530	49.9
		1062	100.0

## VII 大町市創業支援協議会生涯現役環境づくり部会について。

問33 部会認知		N	%
1	はい	196	21.1
2	いいえ	619	66.6
n	未回答	114	12.3
		929	100.0

問34 協議会認知手段		N	%
1	新聞	14	1.5
2	大町市広報・チラシ	185	19.9
3	友人・知人	14	1.5
4	部会利用者紹介	2	0.2
5	その他	6	0.6
n	未回答	708	76.2
		929	100.0

問35 協議会内容認知		N	%
1	知っている	22	2.4
2	おおむね知っている	129	13.9
3	知らない	70	7.5
n	未回答	708	76.2
		929	100.0

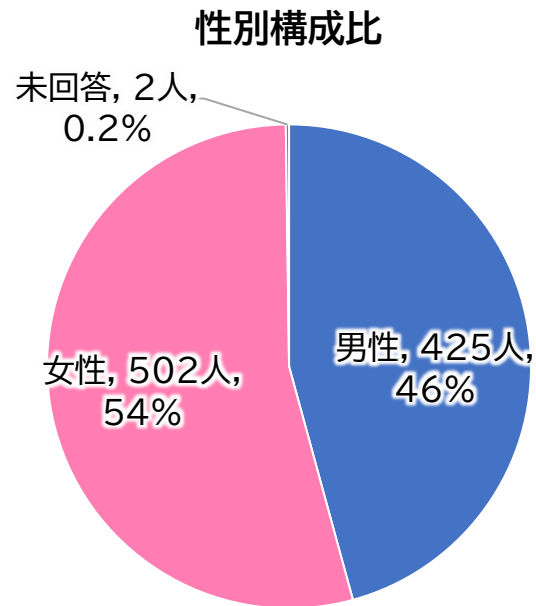
問36 協議会就労支援希望		N	%
1	すでに利用しています	7	0.8
2	はい、すぐに利用したい	13	1.4
3	はい、仕事をやめた後利用したい	69	7.4
4	いいえ	123	13.2
n	未回答	717	77.2
		929	100.0

問37 協議会期待度		N	%
1	大変期待している	42	4.5
2	期待している	121	13.0
3	それほど期待しない	39	4.2
4	期待していない	12	1.3
n	未回答	715	77.0
		929	100.0

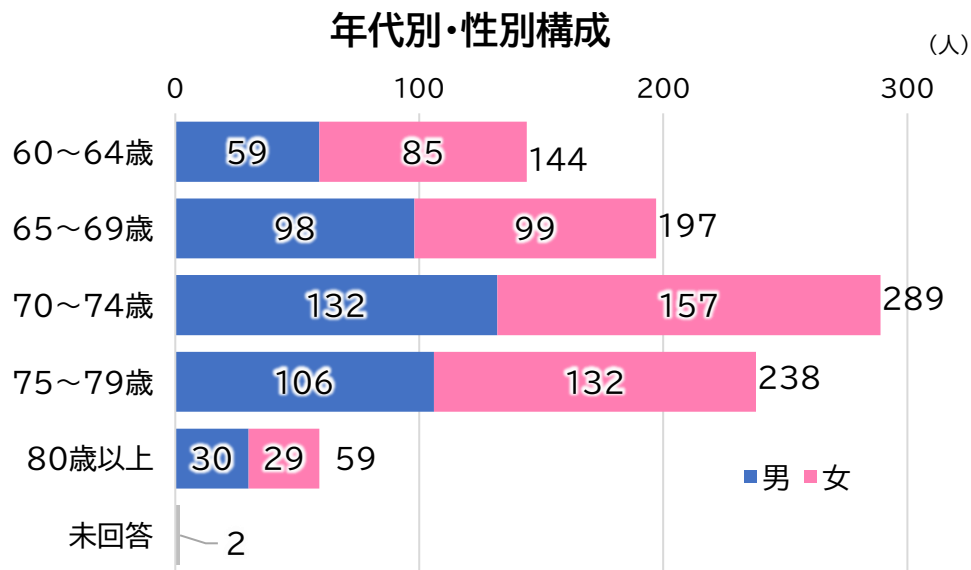
## 2 調査回答データの整合性検証

## 2-① 調査回答者の性別・年代構成比率

n=929



n=929

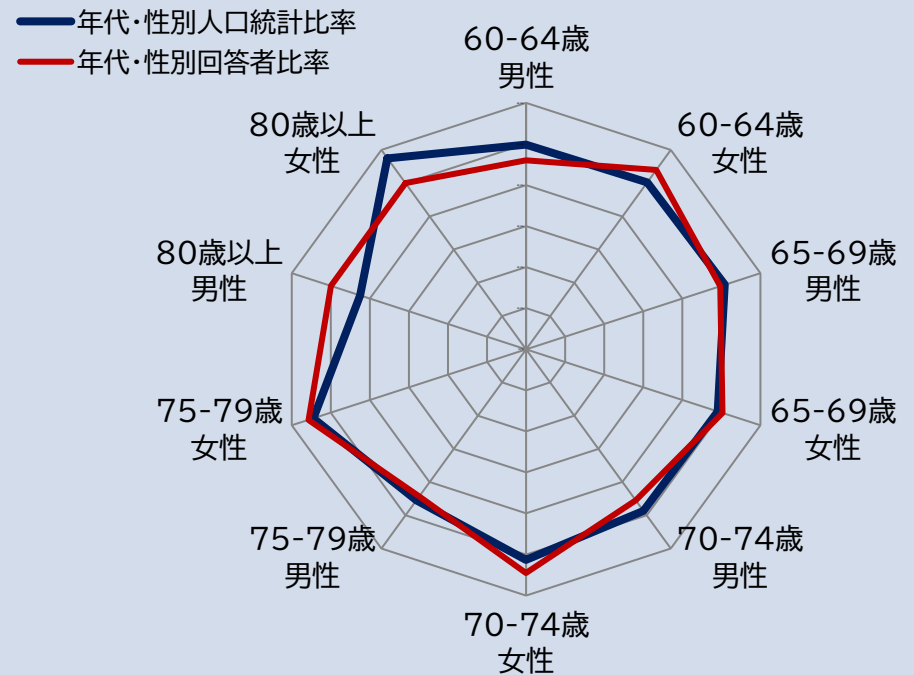


### 調査回答データの性別・年代構成比率検証結果

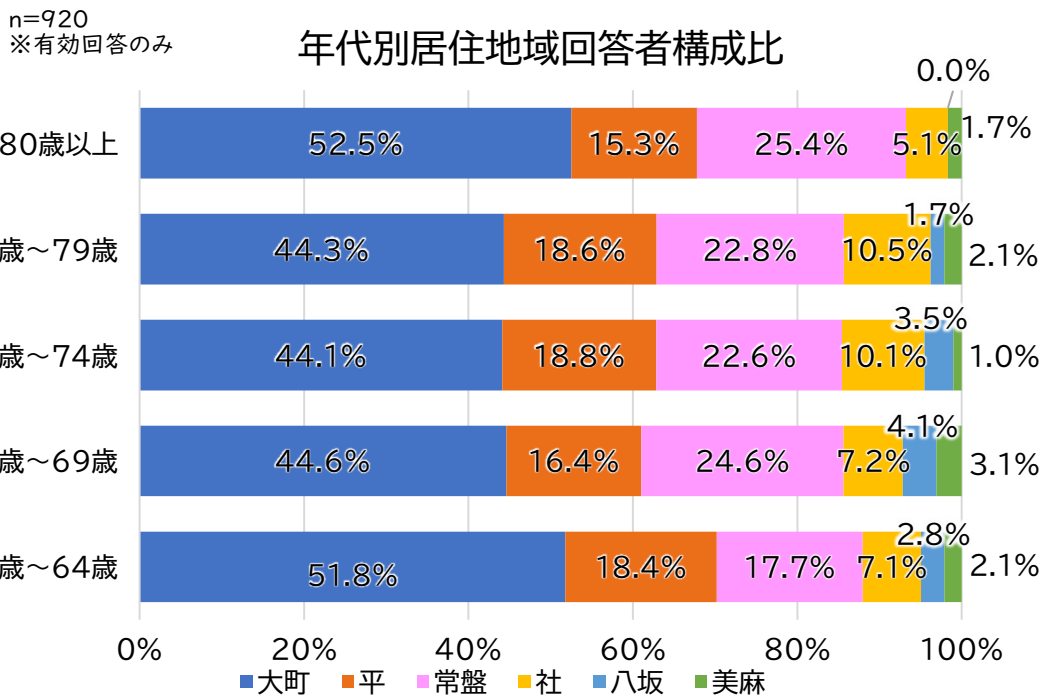
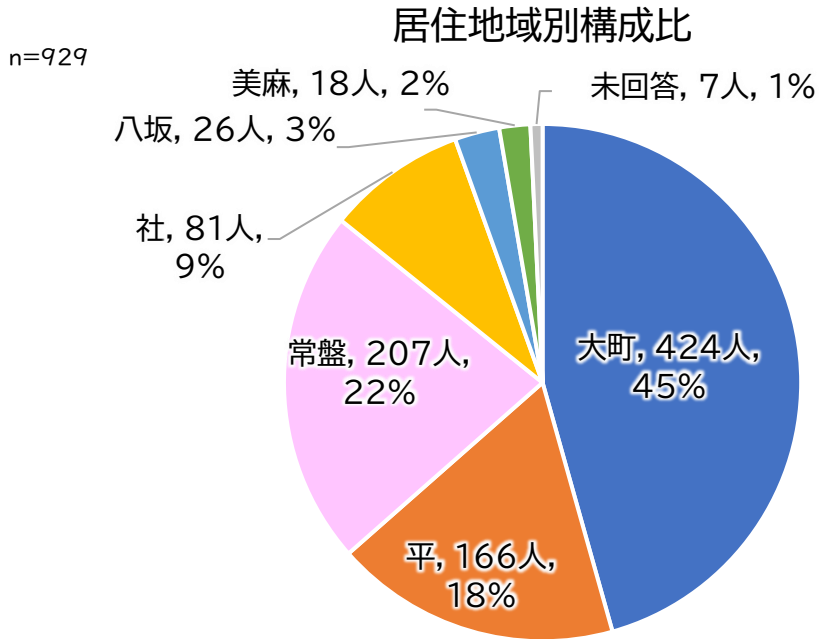
回答者の男女構成比に関しては、**男性:46%** **女性:54%** となり令和5年度高年齢者(60歳以上)の人口統計データによる **男性:47%** **女性:53%** とほぼ同等である。

また、対象の年代別性別構成比率についても年代別人口統計データとの大きな乖離は無く、調査結果分析を進める上で有効であると 考えられる。

#### ◆ 年代別男女構成比、比較検証 ◆



## 2-② 調査回答者の居住地・年代構成比率

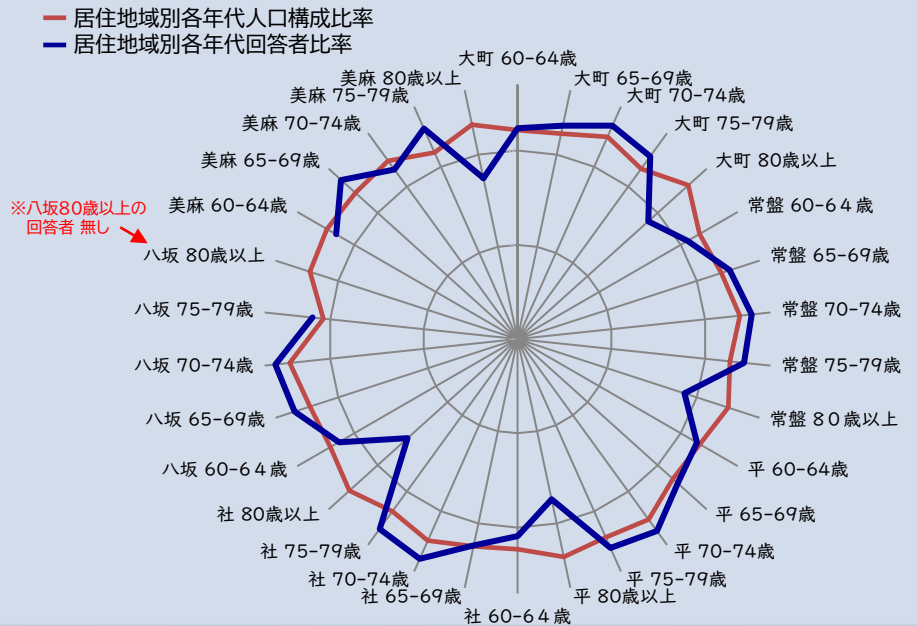


### 調査回答者の居住地各年代別構成比率検証結果

回答者の居住地別構成比に関しては、**大町:45%** **平:18%** **常盤:22%** **社:9%** **八坂:3%** **美麻:2%** となり、令和5年統計データによる年代別地域人口(大町:45% 平:17% 常盤:22% 社:8% 八坂:2% 美麻:3%) とほぼ同等である。

また、居住地別各年代人口構成比率の比較では、各地域ともに80歳以上の回答比率が低い傾向にあるが、世代別相談センター利用者統計係数により年代別調査対象比率を調整した結果であり、60～79歳までの回答比率には大きな乖離が無く、社会参加に関する**状況分析を進める上では有効であると考えられる。**

### ◆ 年代別居住地構成比、比較検証 ◆





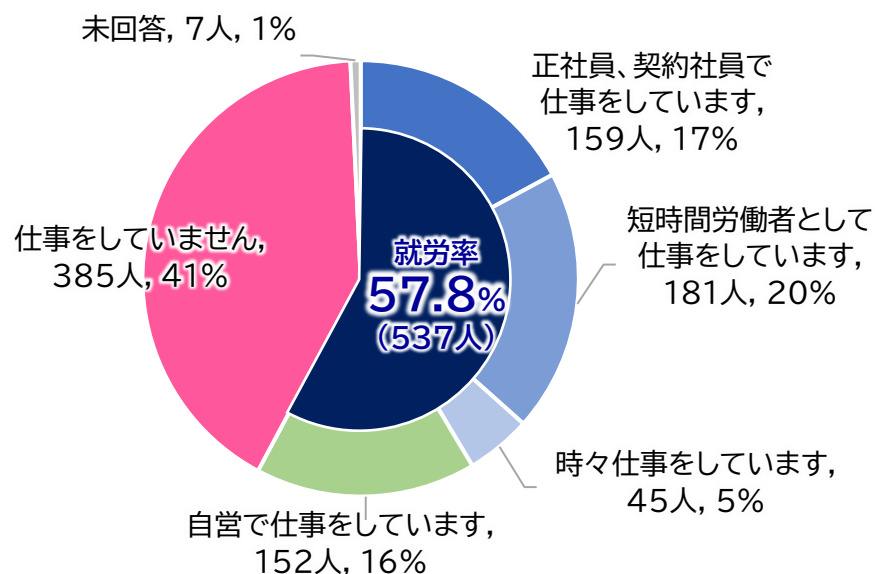
# 3 シニア世代の社会参加状況

# 3-① 「就労」状況

シニア世代(60歳以上)の約**58%**(537人)は、「就労」している

n=929

## 「就労」状況

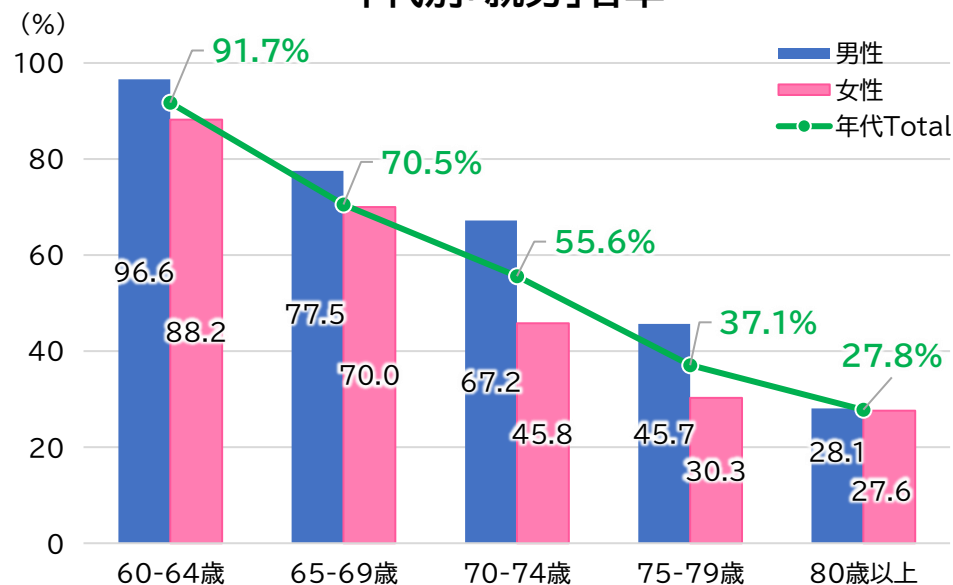


・約**58%** (537/929人)は、**就労**(自営業含む)に従事している。

n=922

※有効回答のみ

## 年代別「就労」者率



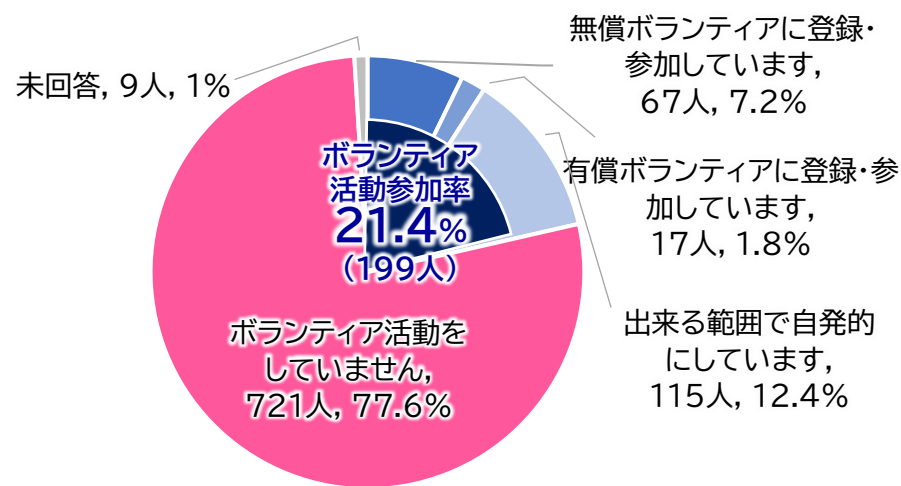
- ・**就労者**(自営業含む)は、**60-64歳の年代が最も比率が高い**。
- ・全ての年代において、**男性の就労比率が高い**傾向にある。

## 3-② 「ボランティア活動」参加状況

シニア世代(60歳以上)の約**21%**(199人)は、「**ボランティア活動**」に参加している

n=929

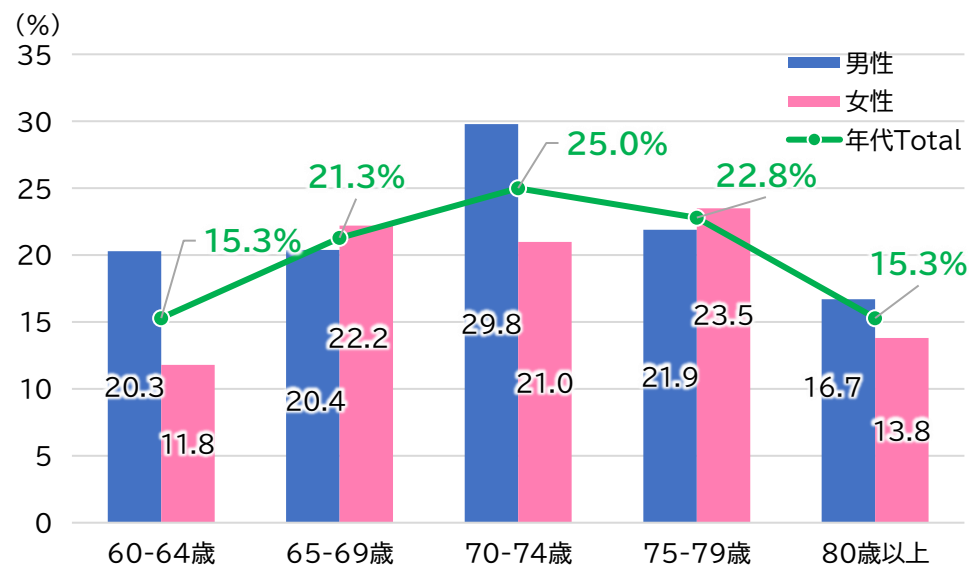
### 「ボランティア活動」参加状況



・約**21%** (199/929人)は、**ボランティア活動**に参加している。

n=920  
※有効回答のみ

### 年代別「ボランティア活動」参加者率



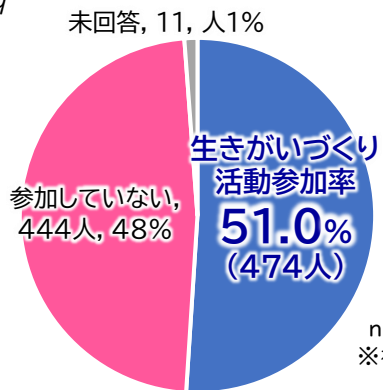
・ボランティア活動は、**70-74歳の年代**における活動参加比率が高い傾向にある。

### 3-③ 「生きがいづくり活動」参加状況

シニア世代(60歳以上)の約**51%**(474人)は、「生きがいづくり活動」に参加している

#### 「生きがいづくり」活動参加状況

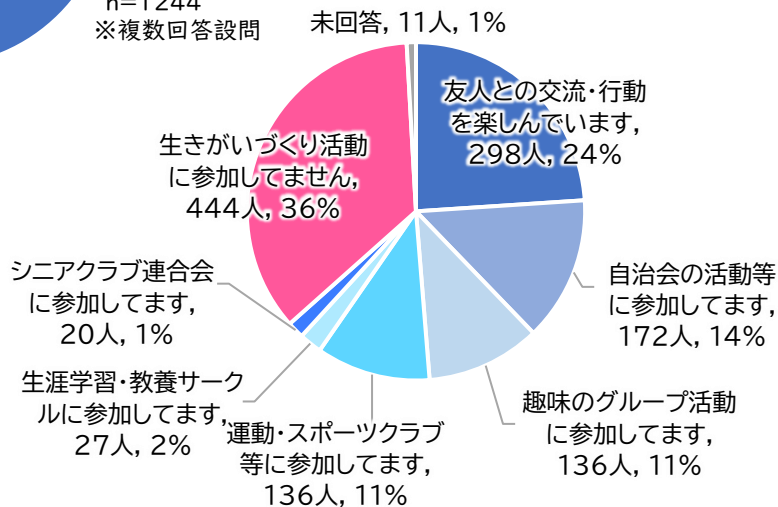
n=929



#### 「生きがいづくり活動」参加手段

n=1244

※複数回答設問

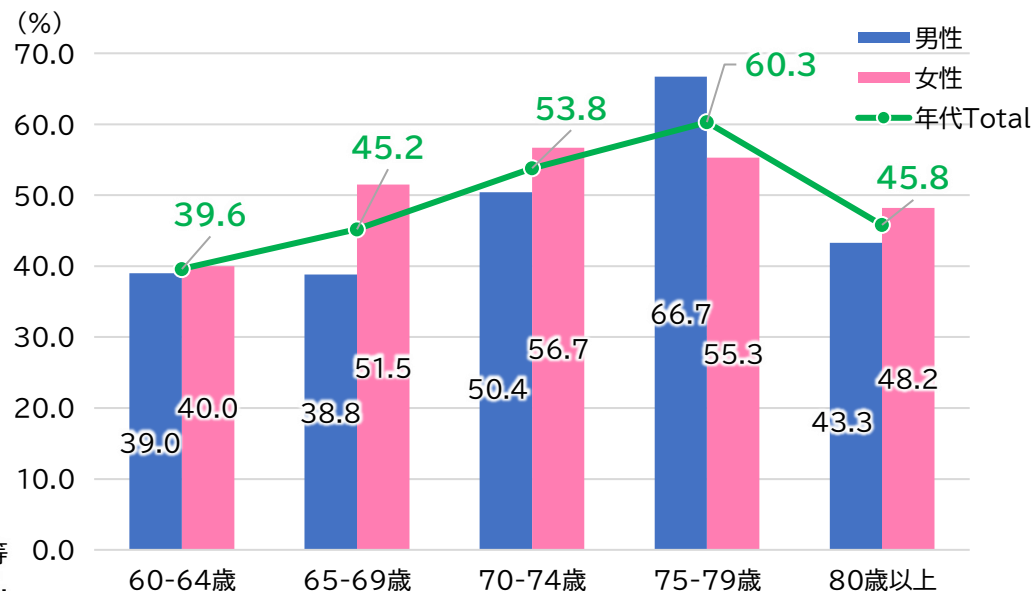


・約**51%**(474/929人)が**生きがいづくり活動**に参加している。

n=915

※有効回答のみ

#### 年代別「生きがいづくり活動」参加者率



・生きがいづくり活動では、**75-79歳の年代で活動参加率が高い**状況にある。

・75-79歳の年代以外では、**女性の活動参加率が高い**状況にある。

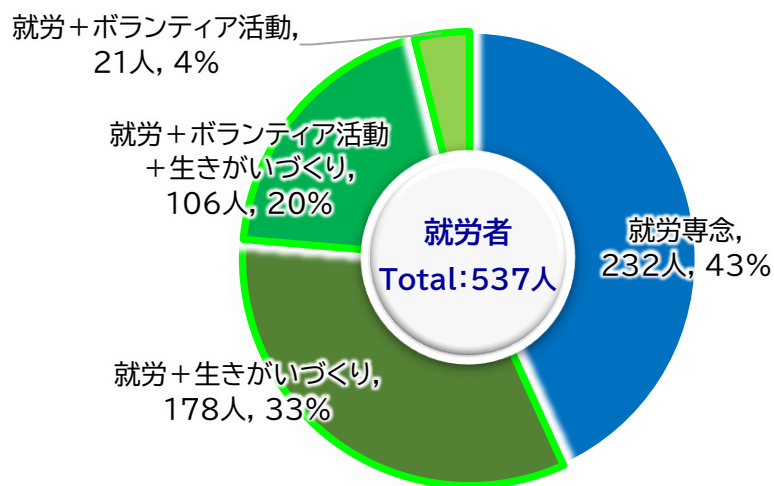


### 3-④ シニア世代の多面的(multi)活躍状況

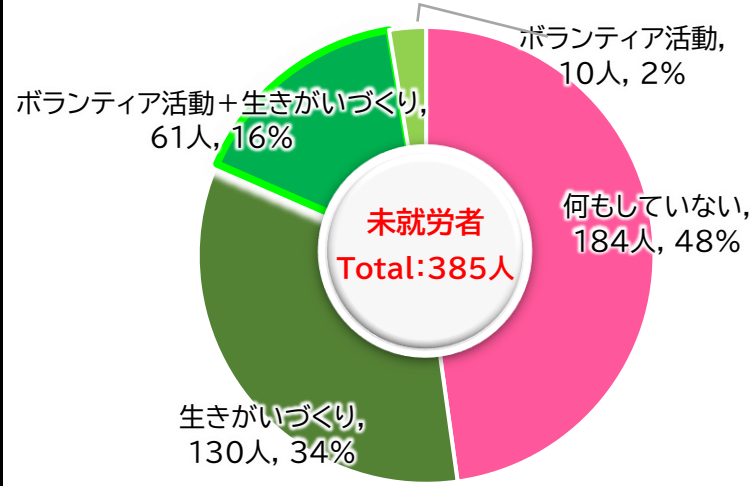
シニア世代(60歳以上)の約**40%**(366人)は、**複数の手段で社会参加し多面的に活躍している**  
 (※ 下表 ○=Yes が2つ以上)

社会参加手段	○=YES    ×=NO							
	1	2	3	4	5	6	7	8
就労(自営含む)	○	○	○	○	×	×	×	×
ボランティア活動	○	○	×	×	○	○	×	×
生きがいづくり活動	○	×	○	×	○	×	○	×
現状 n=922(※有効回答のみ)	<b>11.5%</b> (106人)	<b>2.3%</b> (21人)	<b>19.3%</b> (178人)	<b>25.2%</b> (232人)	<b>6.6%</b> (61人)	<b>1.1%</b> (10人)	<b>14.1%</b> (130人)	<b>19.9%</b> (184人)

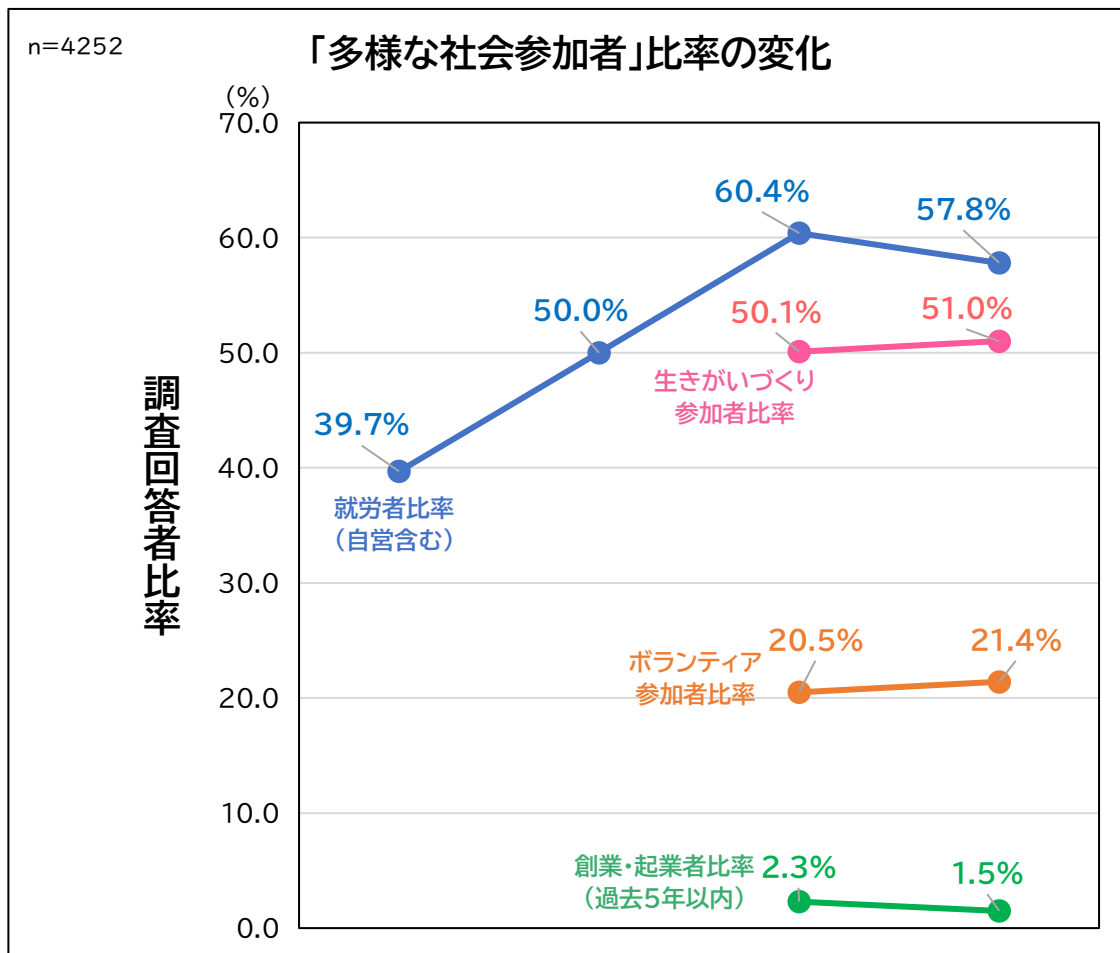
n=537 **就労者の社会参加多面的活躍状況**



n=385 **未就労者の社会参加多面的活躍状況**

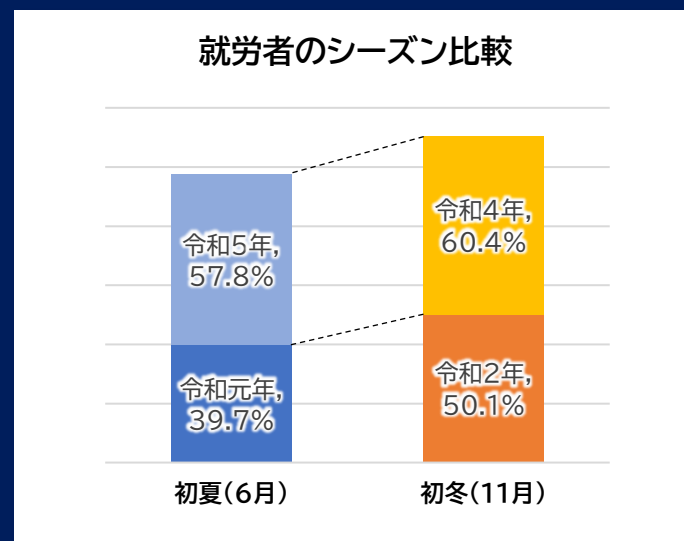


# 3-⑤ 多様な社会参加実態の変化状況



実施年度	令和元年度	令和2年度	令和4年度	令和5年度	
実施時期	6月	11月	11月	6月	
回答者数/対象者数	1180/2500	1133/2500	1010/2500	929/2500	
社会参加手段	就労者比率	39.7%(469人)	50.0%(566人)	60.4%(611人)	57.8%(537人)
	ボランティア参加者比率	—	—	20.5%(207人)	21.4%(199人)
	生きがいづくり参加者比率	—	—	50.1%(506人)	51.0%(474人)
	創業・起業者比率(過去5年以内)	—	—	2.3%(23人)	1.5%(14人)

- ・就労者比較では、令和元年から令和4年までの間、調査機会ごとに約**10ポイント増加**し、令和5年では約**3ポイント減少**している。
- ・過去4回の調査実施時期(シーズン)比較では、共に(令和元年・2年、令和4年・5年)**初冬(11月)のシーズン**に就労者比率が高い。



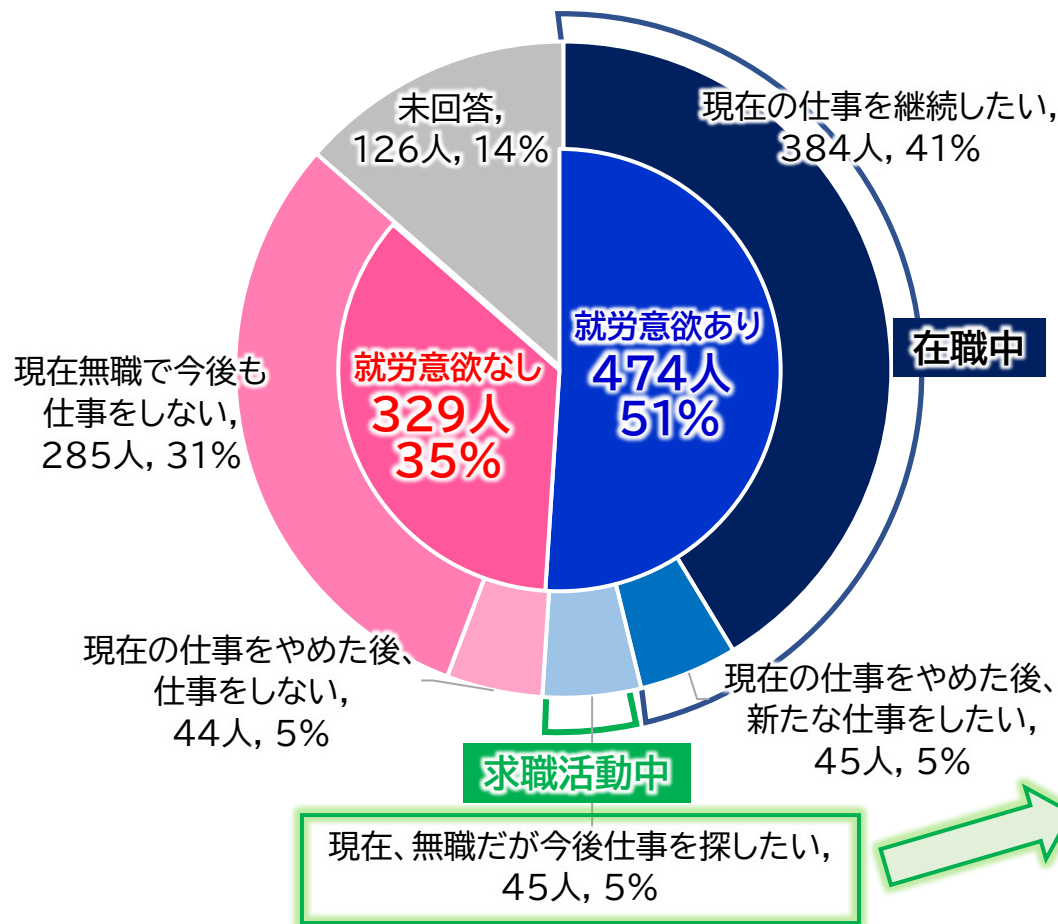
## 4 シニア世代の社会参加意欲

# 4-① 「就労」意欲

- ・シニア世代(60歳以上)の約**51%**(474人)に**就労意欲がある**。
- ・調査時現在、未就労のシニア世代 約**5%**(45人)が**就労を希望**しており、大町市全体の**60歳以上人口比**では 約**490人**が就労を希望していると推計される。

n=929

## 「就労」意欲



## シニア世代人口(60歳以上)における就労希望者推計

- ・アンケート調査回答結果を基に、人口統計データとの比率案分にて、シニア世代(60歳以上)人口における就労希望者を算出すると調査時現在で **約490人と推測** される。

	就労中			未就労		未回答	総計
	現職継続希望	離職後、再就職希望	離職後、就労意欲なし	就労希望	就労意欲なし		
調査回答数	384人	45人	44人	45人	285人	126人	929人
調査回答比率	41.3%	4.8%	4.7%	4.8%	30.7%	13.6%	100.0%
シニア世代人口推計	4,189人	487人	477人	487人	3,113人	1,380人	10,133人

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはなりません。

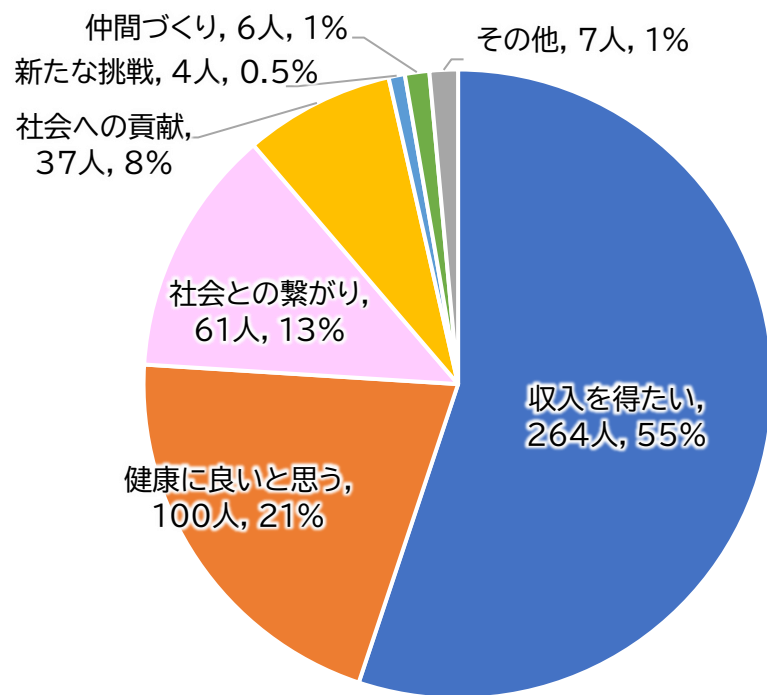


## 4-② 「就労」の理由・目的

- ・「離職後、再就職希望者」「現在未就労の就労希望者」を対象とした「就労」の理由・目的調査では、**「収入を得たい」55%**(264人)が最も多く、次いで**「健康に良いと思う」21%**(100人)となった。
- ・60-64歳の年代で**「収入を得たい」比率が最も高く**、高年齢者になるにつれ**「健康に良いと思う」比率が高くなる**。

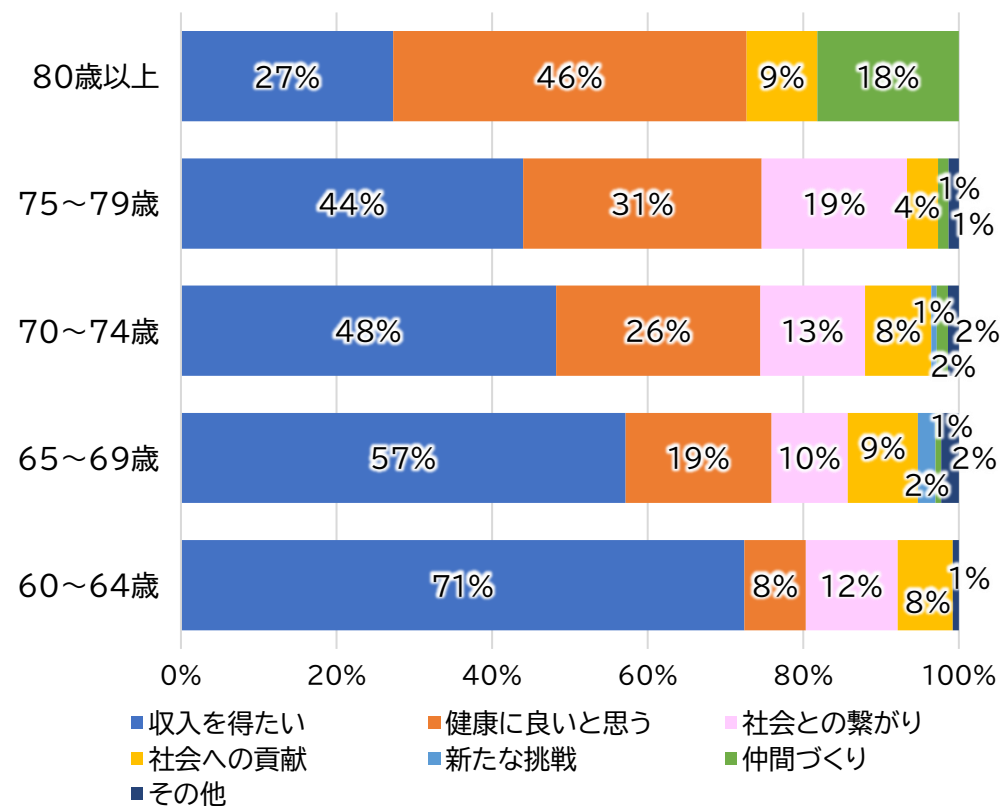
n=479

### 就労の目的・理由



n=472  
※有効回答のみ

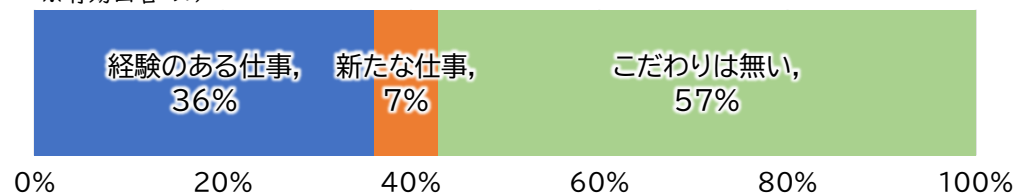
### 年代別就労継続の目的・理由



## 4-③ 「就労」希望条件

### 就労選択のポイント

n=133  
※有効回答のみ



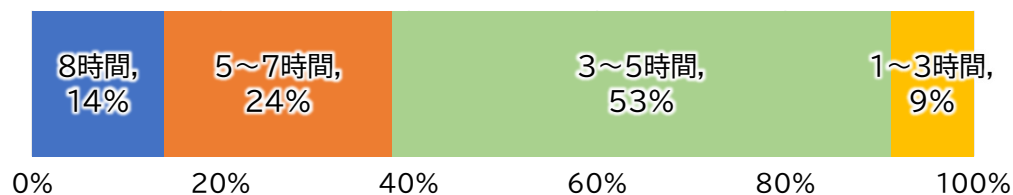
### 仕事の頻度(週間就労日数)

n=136



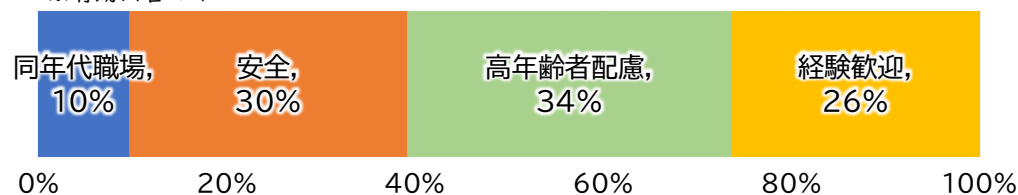
### 1日の就労時間

n=136



### 重視するポイント

n=125  
※有効回答のみ



## シニア世代の「就労」に関する希望条件の分析

・就業継続の希望条件については、「就業選択」「仕事の頻度(1週間の勤務日数)」「1日の就労時間」「重視するポイント」の4項目について調査した。

### □ 就業希望条件の調査結果 □

「特にこだわりは無い」が、  
可能であれば「経験ある仕事」を…

「週に3日~4日」程度の頻度で、…

1日「3時間~5時間」ぐらいの仕事がしたい。

「高齢者であることに配慮(体力等)」があり、  
「安全」で「経験を歓迎」してくれる職場を希望する。

※上記、「シニア世代の就労希望条件」に関しては、  
過去3回の調査と同様の結果となっている。

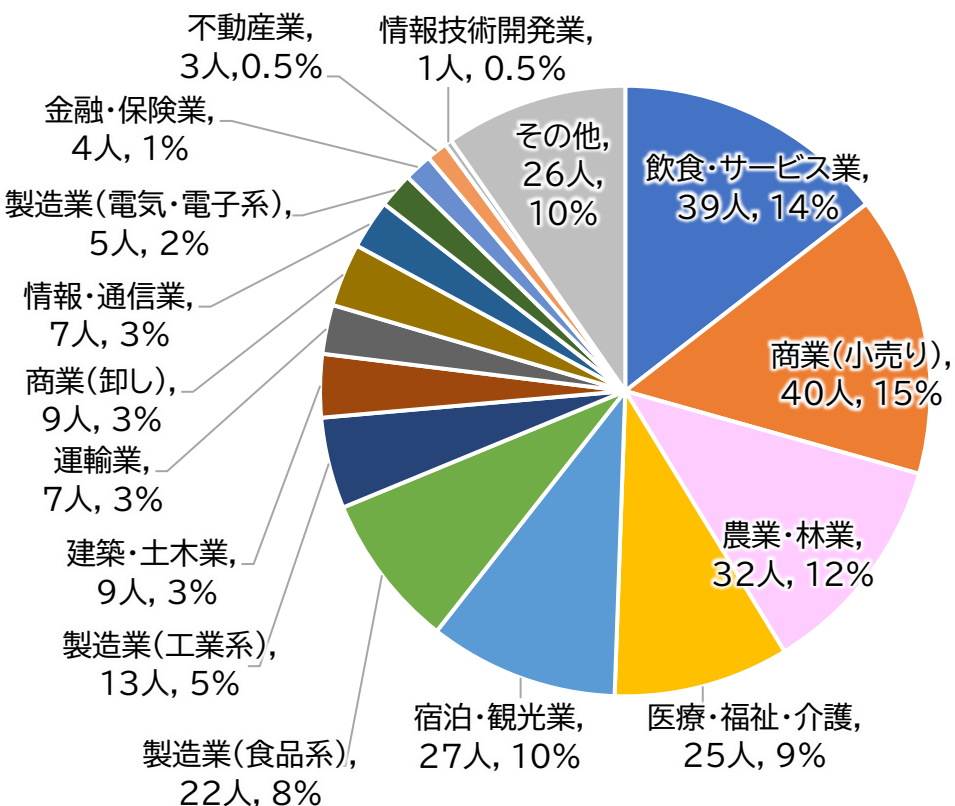
# 4-④ 「就労」希望業種・保有資格

・「飲食・サービス業」「商業(小売り)」が共に**14%**(39人)と就労希望者比率が高い。

・保有資格は多種多様であるが「電気工事士」「調理師・衛生管理者」「大型車両運転」「フォークリフト」の資格保有者が各**8%-6%**(それぞれ25人前後)と**多い傾向**にある。

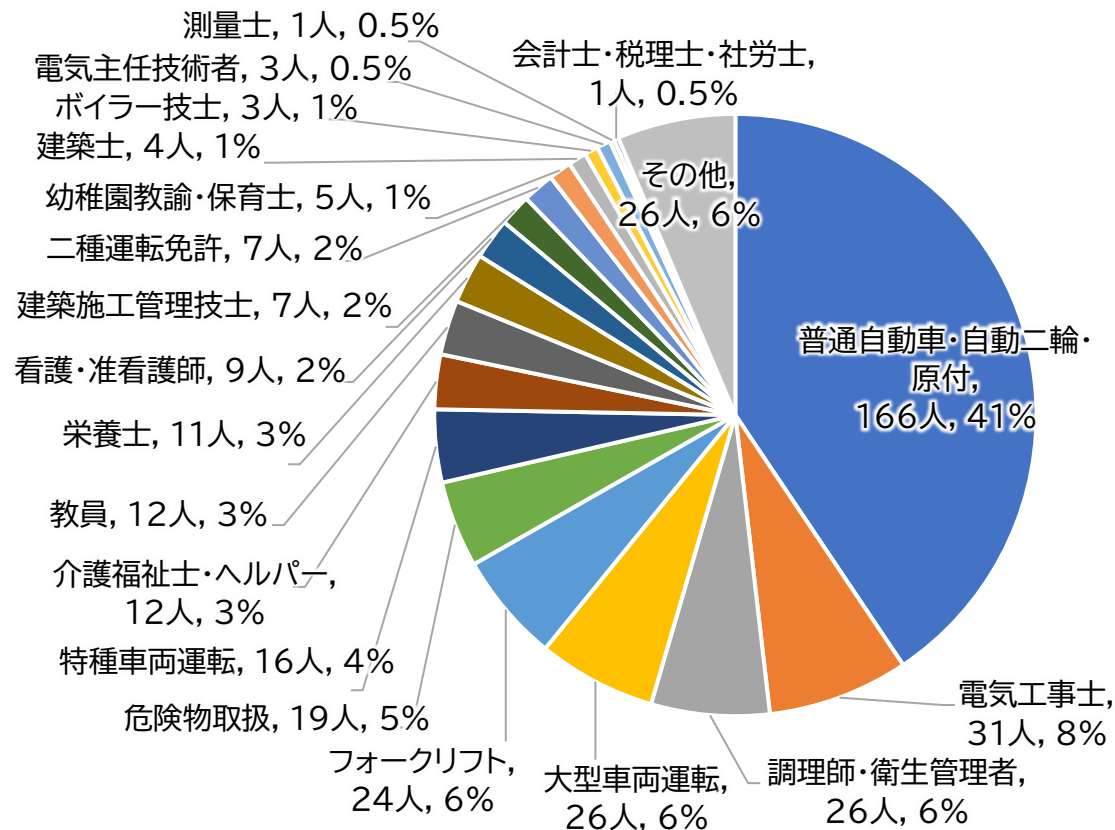
n=269  
※複数回答設問

### 就労希望業種



n=409  
※複数回答設問

### 保有資格



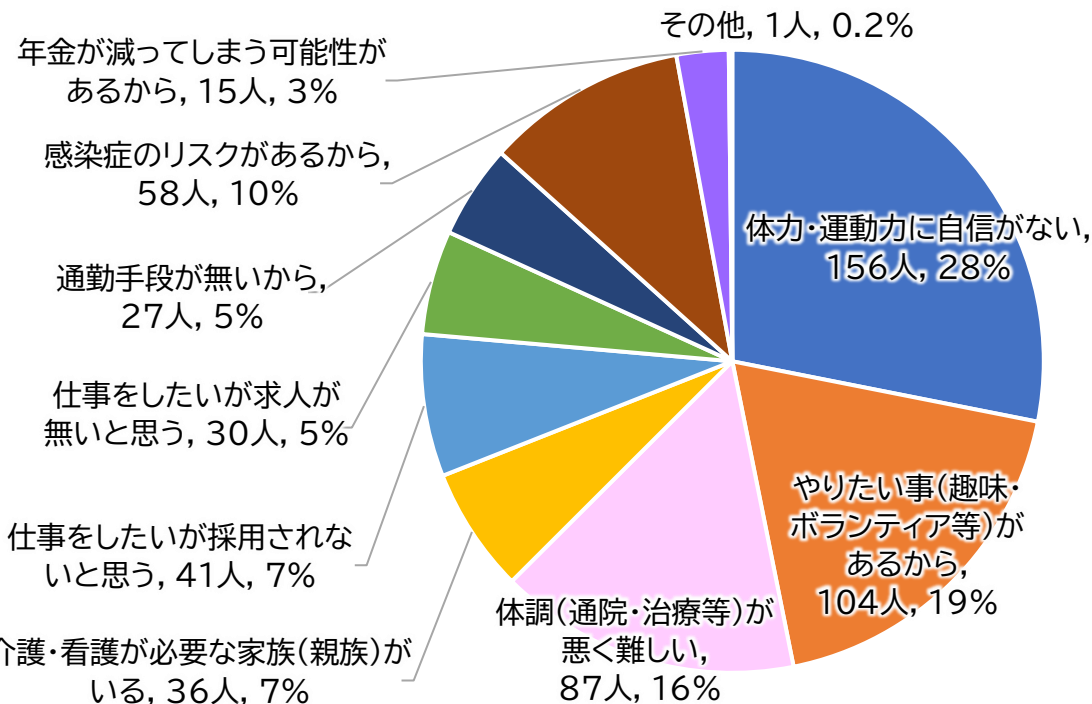
# 4-⑤ 「就労」を希望しない理由

・「体力・運動力に自信がない 約28%」「やりたい事(趣味・ボランティア等) 約19%があるから」「体調(通院・治療等)が悪く難しい 約16%」の3項目で希望しない理由の約6割以上を占めている。

・「体力・運動力に自信がない」「体調(通院・治療等)が悪く難しい」の理由は、高年齢者ほど増加する。

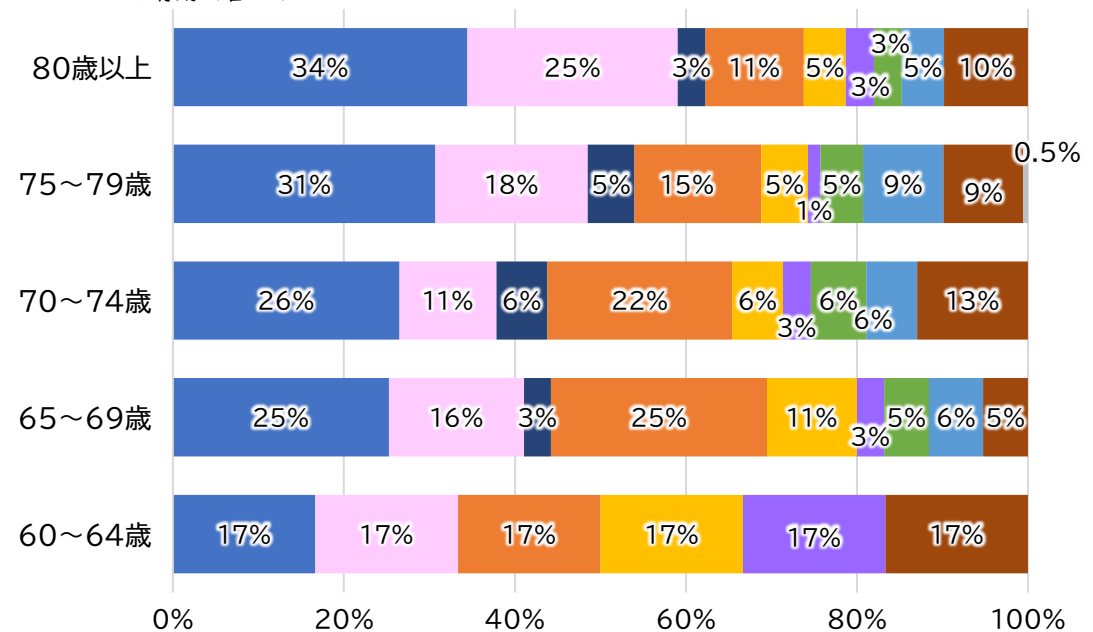
就労を希望しない理由

n=555  
※複数回答設問



年齢別就労を希望しない理由

n=549  
※有効回答のみ



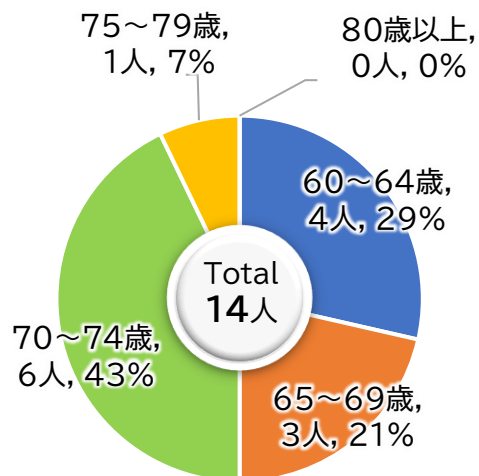
- 体力・運動力に自信がない
- 通勤手段が無いから
- 介護・看護が必要な家族(親族)がいる
- 仕事をしたいが求人が無いと思う
- 感染症のリスクがあるから
- 体調(通院・治療等)が悪く難しい
- やりたい事(趣味・ボランティア等)があるから
- 年金が減ってしまう可能性があるから
- 仕事をしたいが採用されないと思う
- その他

## 4-⑥ 「創業・起業」意欲

- ・過去5年以内に**創業・起業**したシニア世代(60歳以上)は**14人**、**60-64歳**の年代が約**29%**と最も多い。
- ・創業・起業を希望されているシニア世代は、**60-64歳の年代**が約**42%**(11人)と最も多い。
- ・調査時時点で**創業・起業**を希望するシニア世代(60歳以上)は、約**0.4%**(4人)ではあるが、大町市全体の60歳以上人口比では約**40人が創業・起業に意欲的**であると推測される。

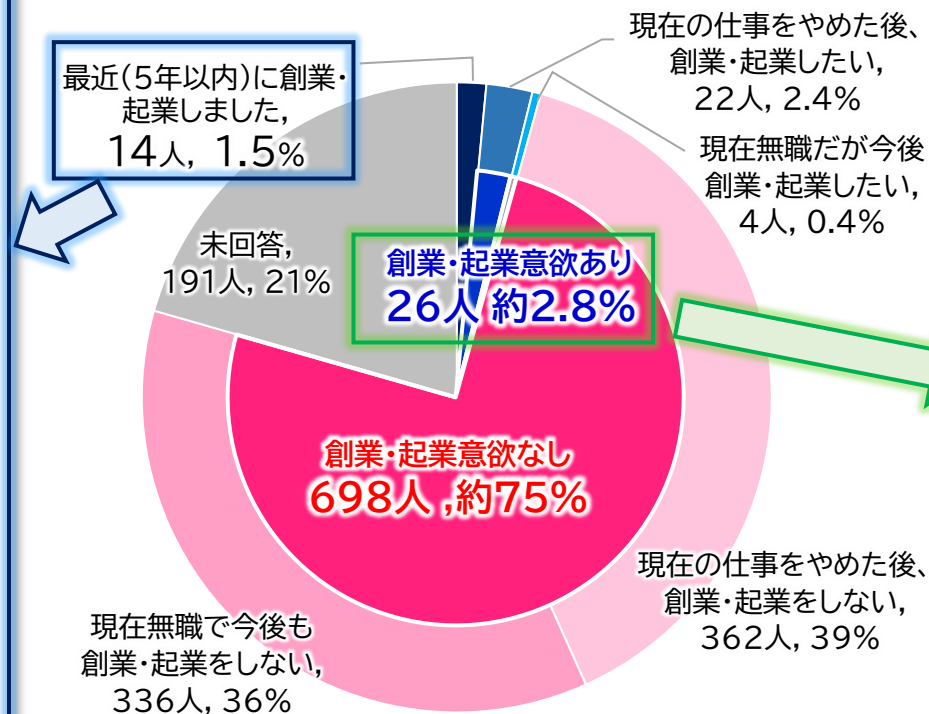
最近(5年以内)の年代別  
創業・起業者

n=14

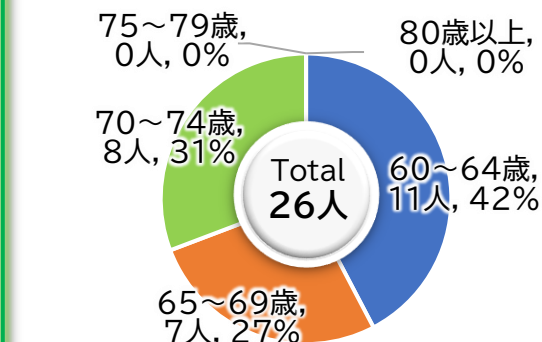


n=929

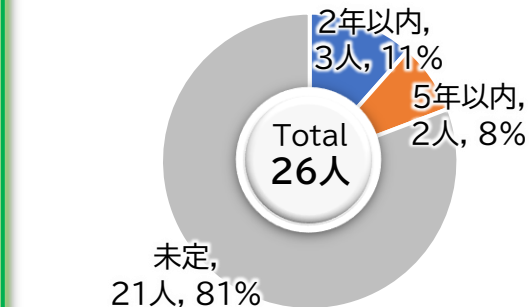
「創業・起業」意欲



n=26 年代別創業・起業希望者



n=26 創業・起業の希望時期



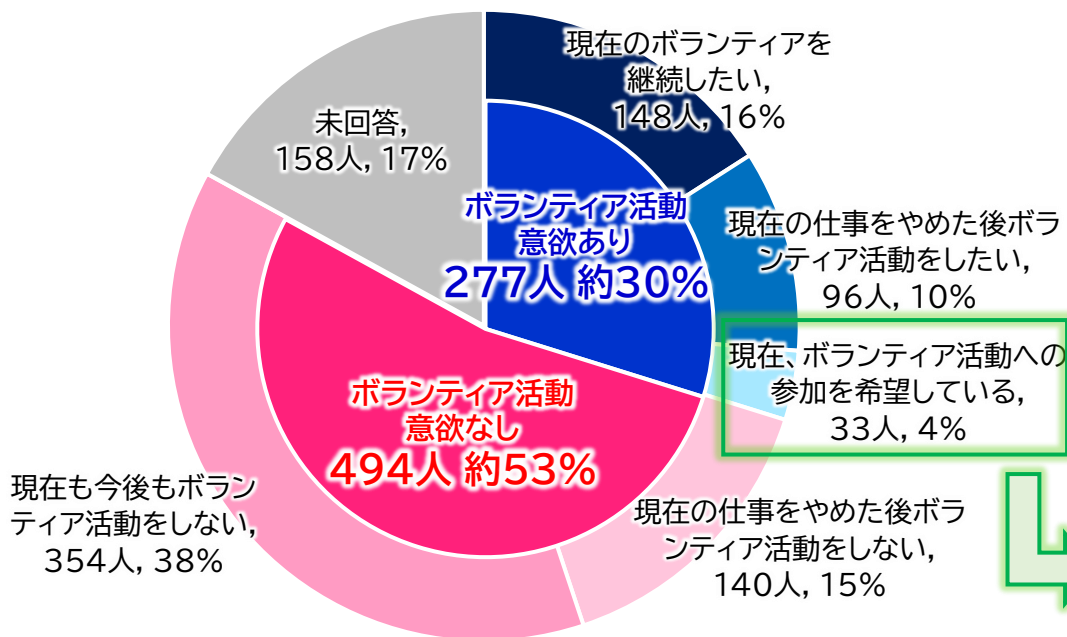


## 4-⑦ 「ボランティア活動」意欲

- ・シニア世代(60歳以上)の約**30%**(277人)に**ボランティア活動参加意欲がある**。
- ・調査時現在、約**4%**(33人)が**ボランティア活動参加を希望**しており、大町市全体の60歳以上人口比では約**365人**がボランティア活動参加を希望されていると推測される。

n=929

### 「ボランティア活動」意欲



### シニア世代人口(60歳以上)における ボランティア活動参加希望者推計

- ・アンケート調査回答結果を基に、人口統計データとの比率案分にて、シニア世代(60歳以上)人口におけるボランティア活動参加希望者を算出すると調査時現在で**約365人と推測**される。

	ボランティア活動参加中 現在の活動を継続	ボランティア活動未参加			未回答	総計	
		退職後に参加したい	現在、参加を希望している	退職後も参加しない 今後参加しない			
調査回答数	148人	96人	33人	140人	354人	158人	929人
調査回答比率	15.9%	10.3%	3.6%	15.1%	38.1%	17.0%	100.0%
シニア世代人口推計	1,611人	1044人	365人	1,530人	3,860人	1,723人	10,133人

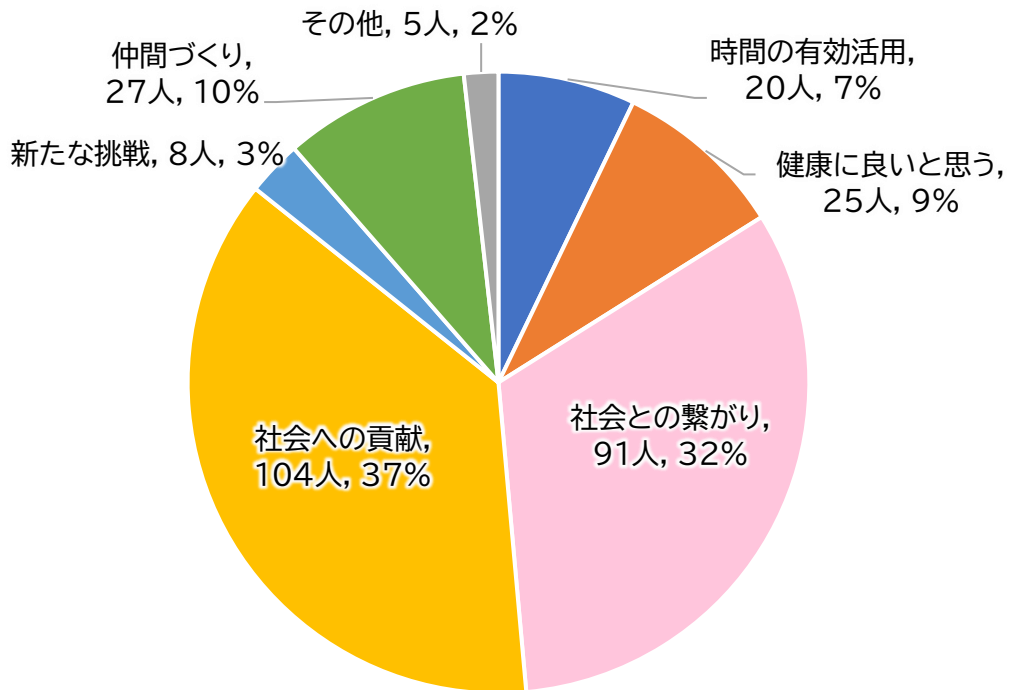


## 4-⑧ 「ボランティア活動」参加希望の理由・目的

- ・「ボランティア活動」参加希望の理由・目的調査では、「**社会への貢献**」37%(104人)が最も多く、次いで「**社会との繋がり**」32%(91人)となった。
- ・高齢になるにつれ「**社会への貢献**」「**社会との繋がり**」の比率は低くなり、「**仲間づくり**」「**健康に良いと思う**」比率が高くなる傾向にある。

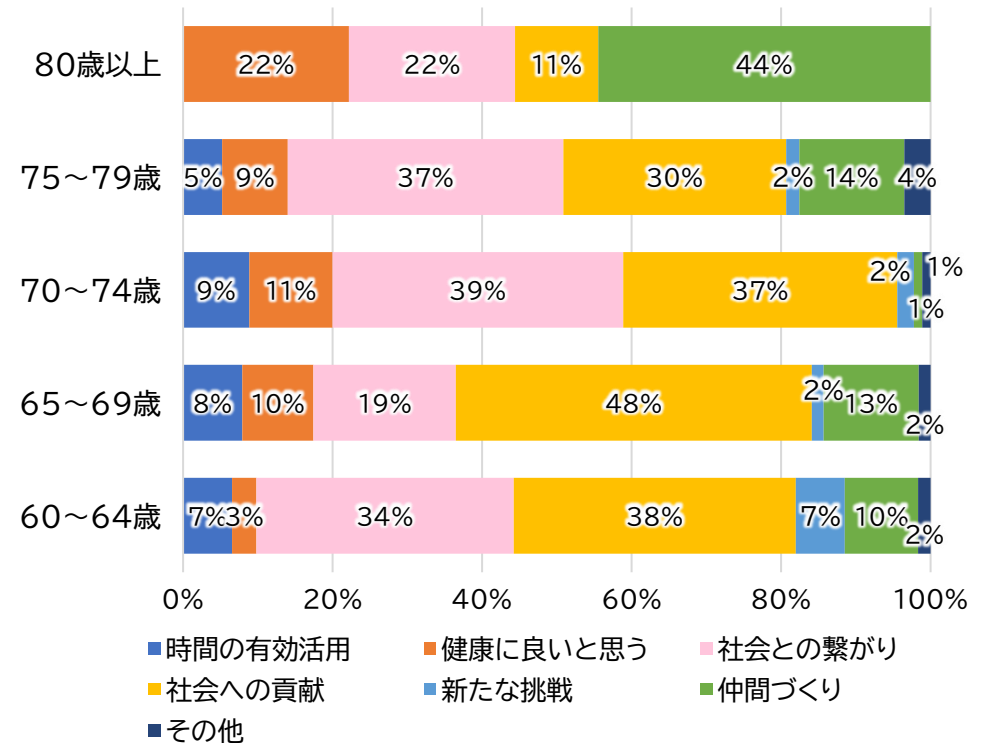
「ボランティア活動」参加希望の理由

n=280



年代別「ボランティア活動」参加の理由

n=280



## 4-⑨ 「ボランティア活動」を希望しない理由

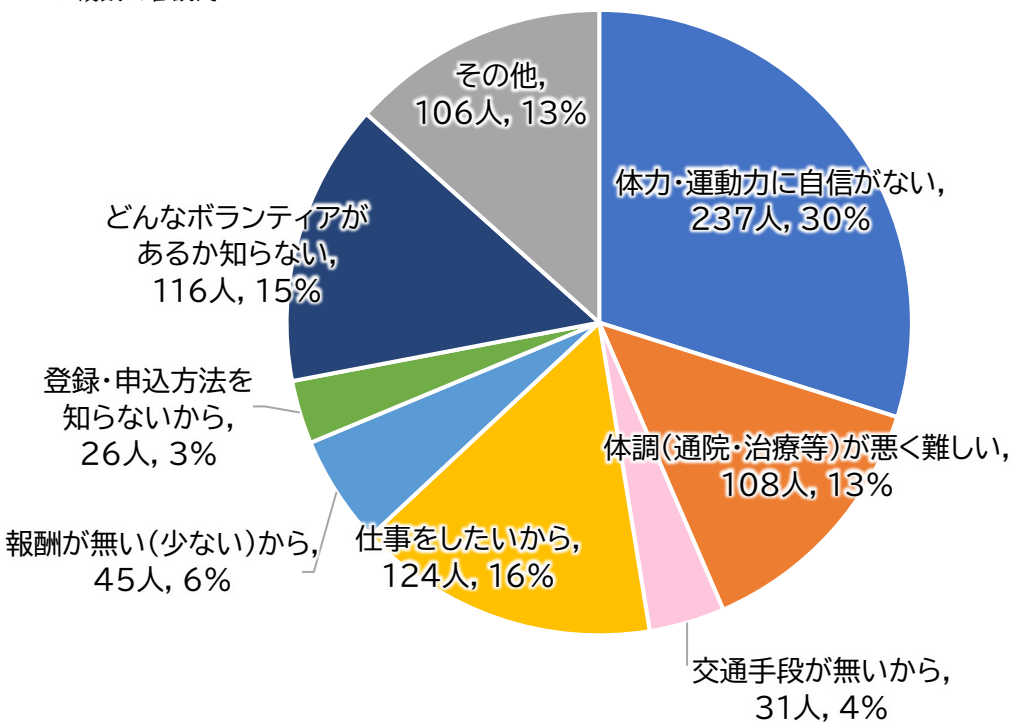
・「体力・運動力に自信がない 約30%」「仕事がしたいから 約16%」「体調(通院・治療等)が悪く難しい 約13%」の3項目で希望しない理由の約6割を占めている。

・「仕事がしたいから」の理由は、年代が低いほど増加する。

・「どんなボランティアがあるのか知らない」は、全年代、ほぼ同様の比率で希望しない理由としている。

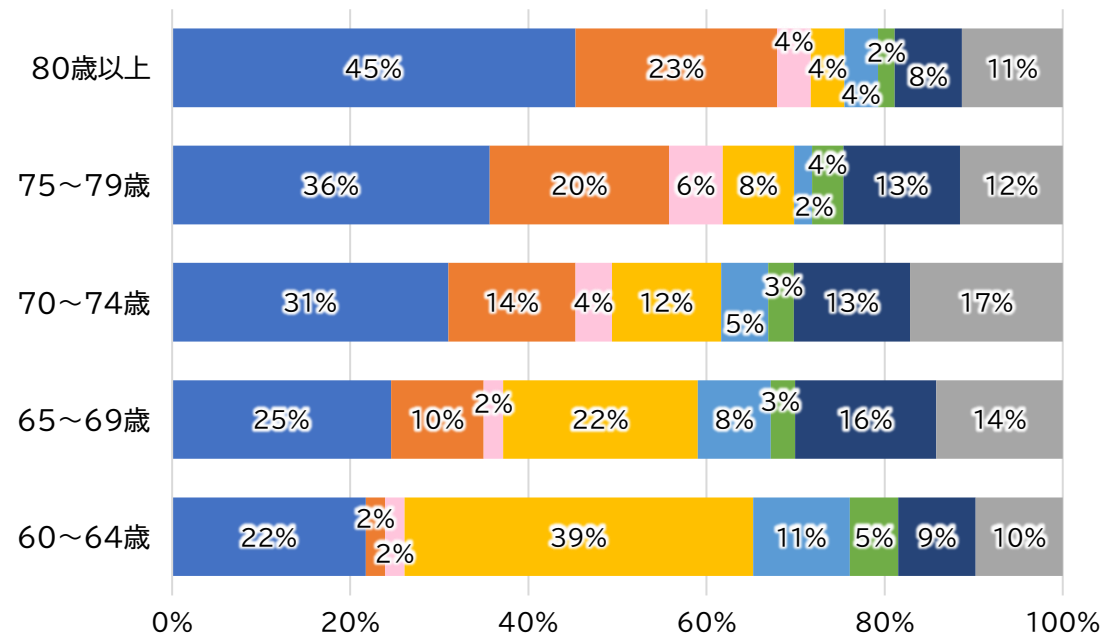
「ボランティア活動」を希望しない理由

n=793  
※複数回答設問



年代別「ボランティア活動」を希望しない理由

n=772  
※複数回答設問



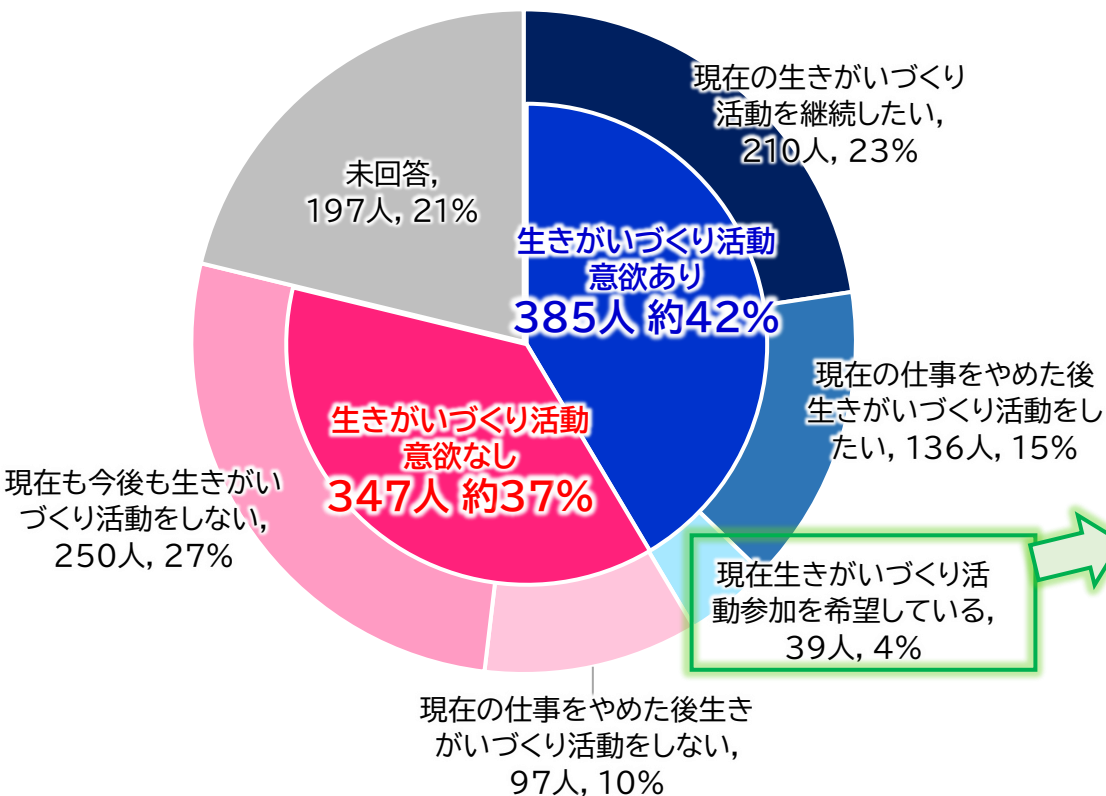
■ 体力・運動力に自信がない  
■ 体調(通院・治療等)が悪く難しい  
■ 通勤手段が無いから  
■ 仕事がしたいから  
■ 報酬が無い(少ない)から  
■ 登録・申込方法を知らないから  
■ どんなボランティアがあるか知らない  
■ その他

# 4-⑩ 「生きがいづくり活動」意欲

- ・シニア世代(60歳以上)の約**42%**(385人)に**生きがいづくり活動参加意欲がある**。
- ・調査時現在、約**4%**(39人)が**生きがいづくり活動参加希望**しており、大町市全体の60歳以上人口比では約**425人**が生きがいづくり活動参加を希望されていると推測される。

「生きがいづくり活動」意欲

n=929



## シニア世代人口(60歳以上)における 生きがいづくり活動参加希望者推計

- ・アンケート調査回答結果を基に、人口統計データとの比率案分にて、シニア世代(60歳以上)人口における生きがいづくり活動参加希望者を算出すると調査時現在で**約425人と推測**される。

	生きがいづくり活動参加中	生きがいづくり活動未参加			未回答	総計
	現在の活動を継続	退職後に参加したい	現在、参加を希望している	退職後も参加しない		
調査回答数	210人	136人	39人	97人	250人	929人
調査回答比率	22.6%	14.6%	4.2%	10.5%	26.9%	100.0%
シニア世代人口推計	2,290人	1,480人	425人	1,064人	2,726人	10,133人

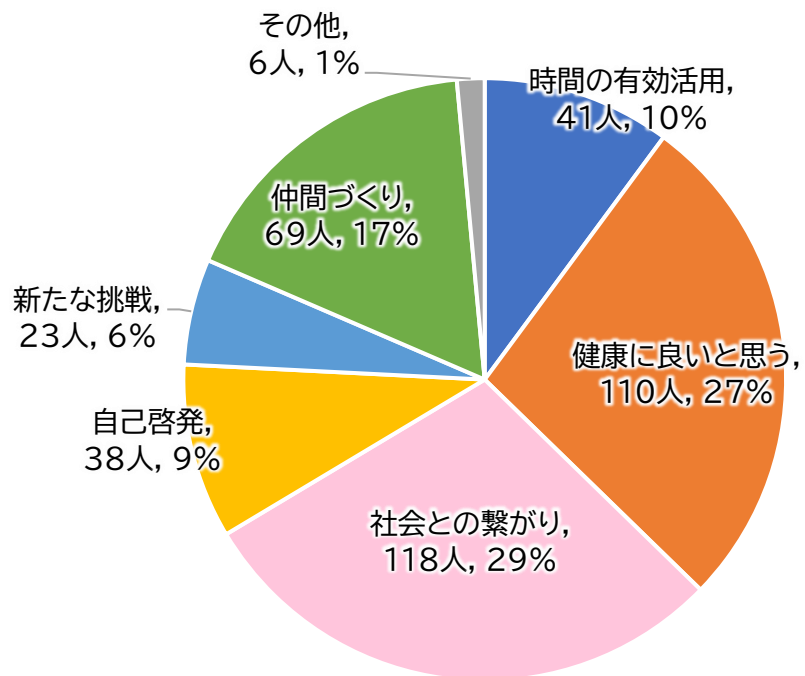
## 4-⑪ 「生きがいづくり活動」参加希望の理由・目的

・「いきがいづくり活動」参加希望の理由・目的調査では、「**社会との繋がり**」29%(118人)が最も多く、次いで「**健康に良いと思う**」27%(110人)「**仲間づくり**」17%(69人)となった。

・高齢になるにつれ「**仲間づくり**」の比率は高くなる傾向にある。

「生きがいづくり活動」参加希望の理由・目的

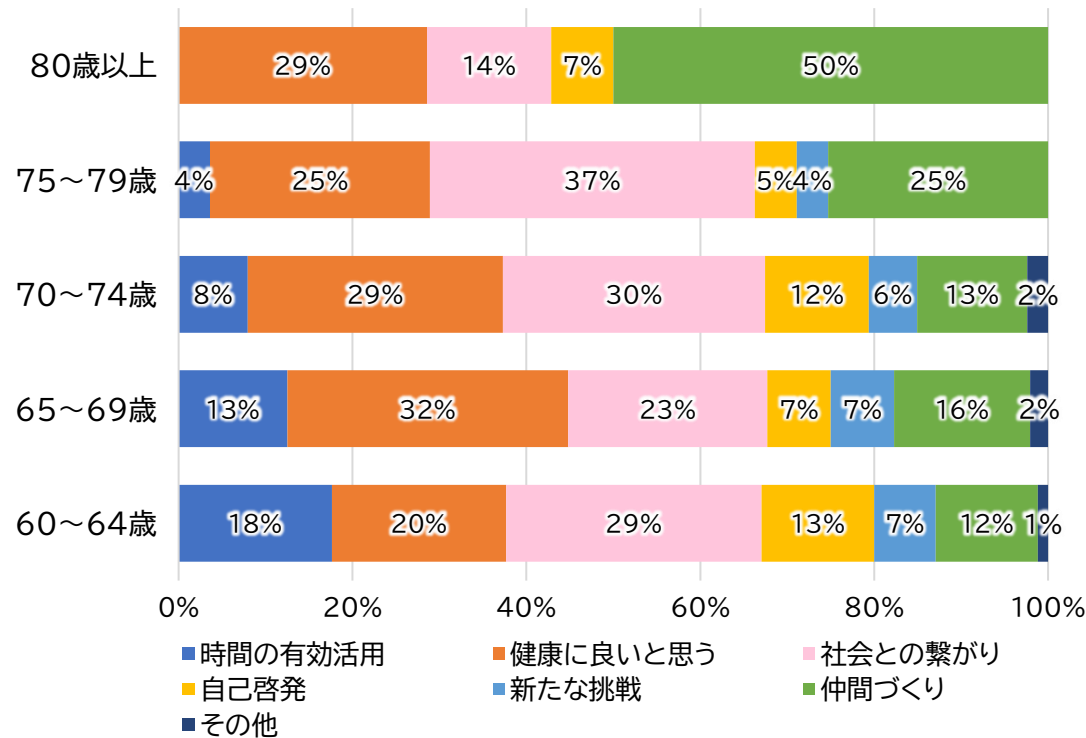
n=405



年代別「生きがいづくり活動」参加希望の理由・目的

n=404

※有効回答のみ

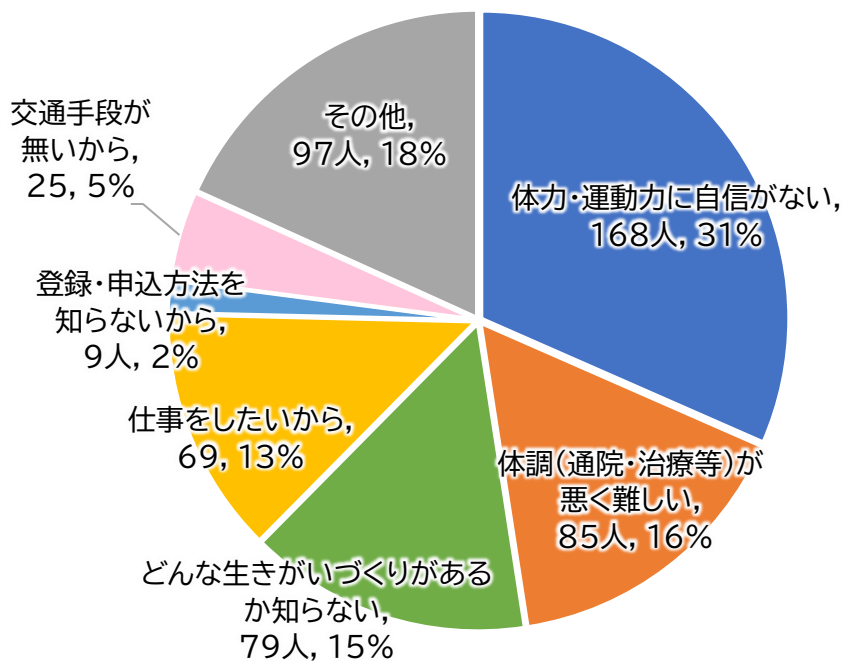


## 4-⑫ 「生きがいづくり活動」を希望しない理由

- ・「**体力・運動力に自信がない** 約31%」「**体調(通院・治療等)が悪く難しい** 約16%」「**どんな生きがいづくりがあるか知らない** 約15%」の**3項目**で希望しない理由の**約6割**を占めている。
- ・「**仕事がしたいから**」の理由は、**60歳代の年代で高く**、「**体力・運動力に自信がない**」の理由では、**高い年代ほど増加する**。

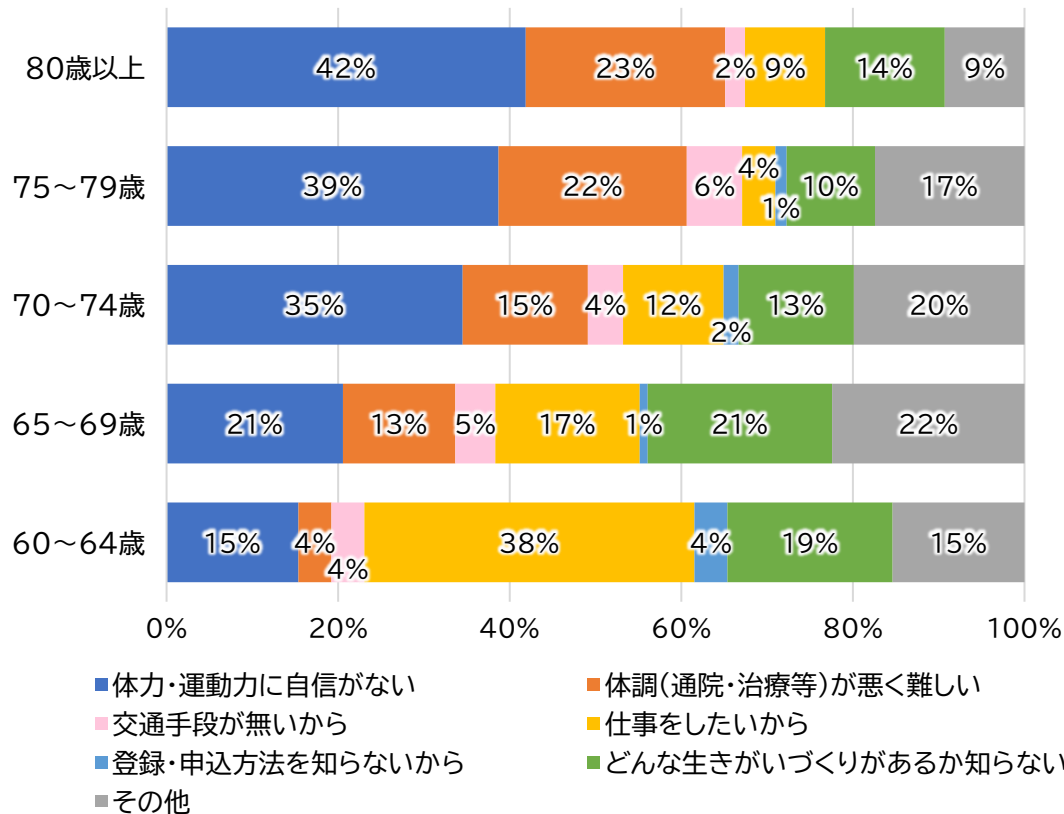
「生きがいづくり活動」を希望しない理由

n=532  
※複数回答設問



年齢別「生きがいづくり活動」を希望しない理由

n=528  
※有効回答のみ



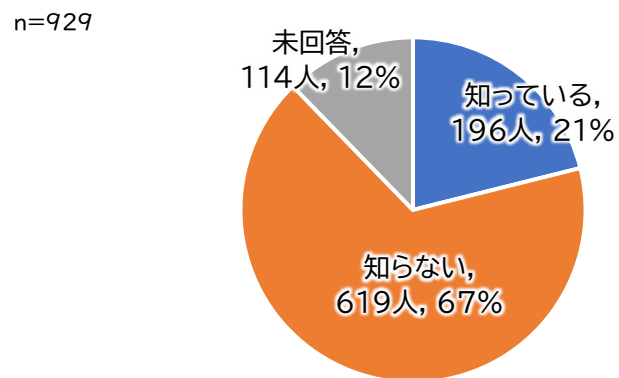
# 5 大町市創業支援協議会 生涯現役環境づくり部会について



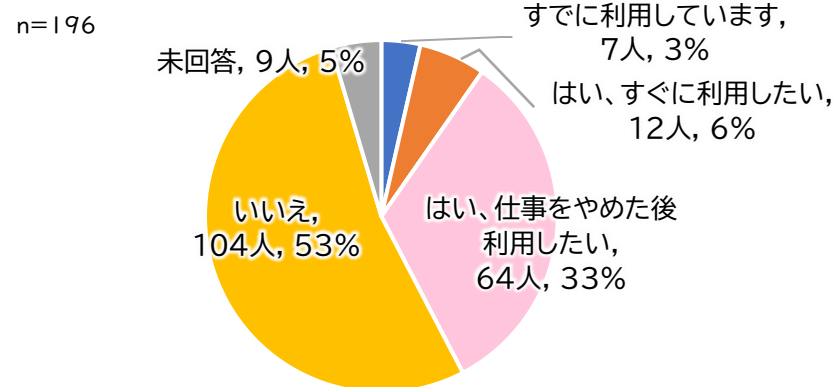
# 5-① 生涯現役環境づくり活動の認知度

- 生涯現役環境づくり活動を開始した後、1年間経過時の認知度は、約**21%** (196人)  
部会活動「知った」きっかけでは、「**広報おおまち・チラシ**」の起因が約**83%**(163人)と圧倒的であった。
- 支援希望者は、**退職後利用したい** 約**33%**(64人)、**すぐに利用したい** 約**6%**(12人)との調査結果となり、  
創業支援協議会 生涯現役環境づくり部会への**期待度も** 約**76%**と**高い**調査結果となった。

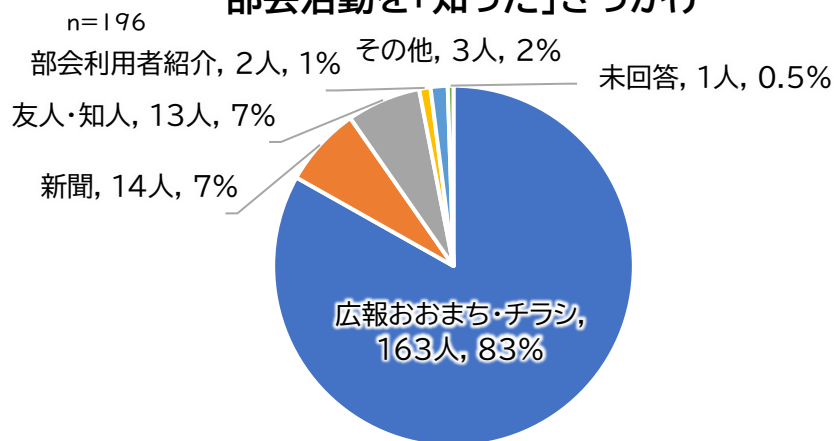
生涯現役環境づくり部会の認知



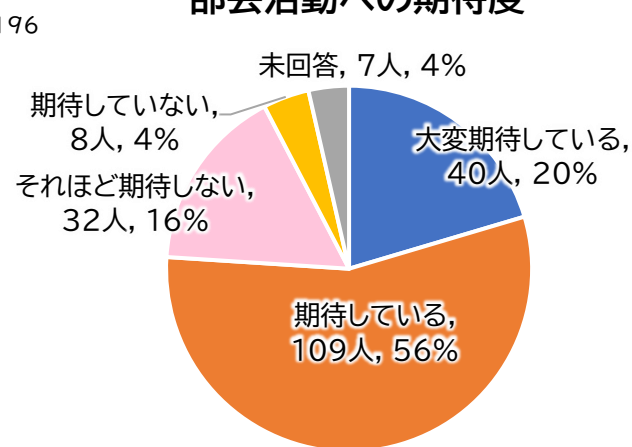
相談センター利用希望



部会活動を「知った」きっかけ



部会活動への期待度



# 6 調査目的に対する分析結果の検証・考察

# 6-① 確認・検証項目 I

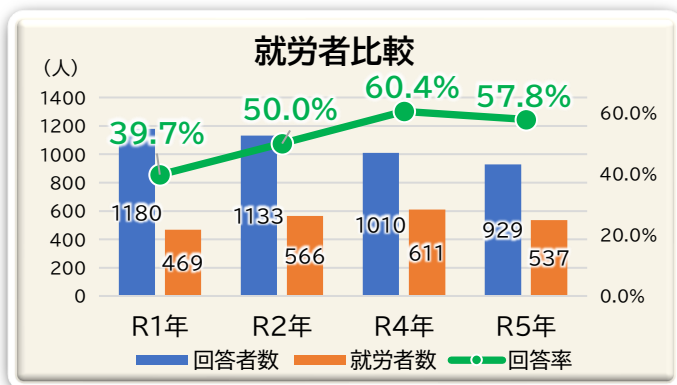
I 高年齢者雇用安定法の改正に伴う、定年年齢の引き上げ、延長雇用制度の拡大等、シニア世代における就労環境の変化を背景に就労意欲・就労支援ニーズを前年と異なる時期に調査し、比較することにより調査内容の精度を向上させる。

## a) 調査実行の確認・検証

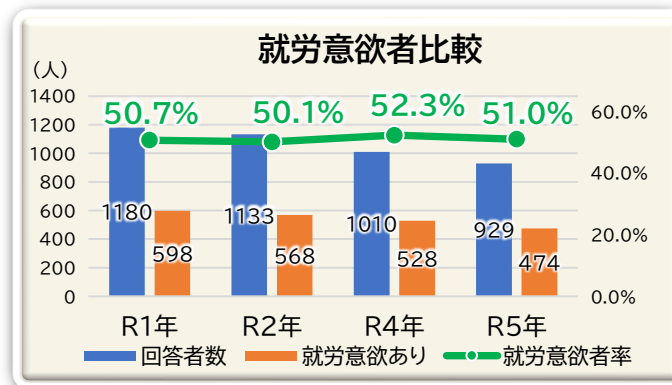
・過去3回(令和元年、2年、4年)の調査を含め、**調査対象人数は10,000(人)**となり、**シニア世代人口の約98%**の調査を完了した。

(※Note: 令和元年度は、65歳以上人口,2,500を対象)

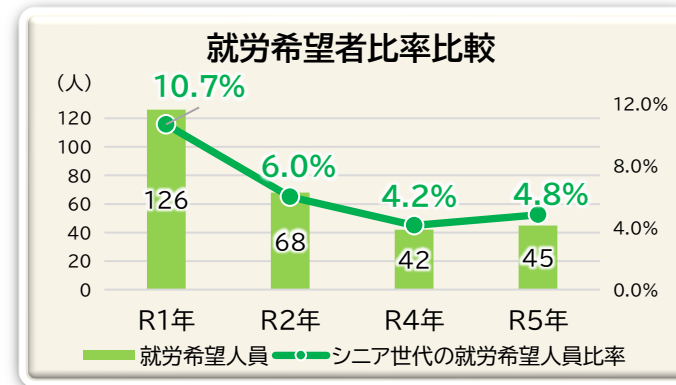
## b) 就労意欲・就労支援ニーズの変化



・シニア世代(60歳以上)における就労者比率は、昨年比で微減(約3ポイント)しているが、60%程度で推移している。



・シニア世代(60歳以上)における就労意欲者比率は、50%程度で推移している。



・調査時時点におけるシニア世代(60歳以上)の就労希望者比率は、回復傾向にある。

## c) 考察

・高年齢者雇用安定法の改訂により65歳までの就労機会の提供が義務付けられ、雇用側における延長雇用体制の整備・充実により、令和4年度調査ではシニア世代の就労者率が60%を超え、今回の調査においては微減ながらほぼ同様の比率(57.8%)となり、今後も約60%程度で推移すると推測される。

・調査時点における就労希望者比率は令和元年以降、減少傾向にあったが今回の調査では回復傾向にあり、新型コロナウイルスに対する“感染不安”影響が軽減されつつあると思われる。

## 6-② 確認・検証項目 II

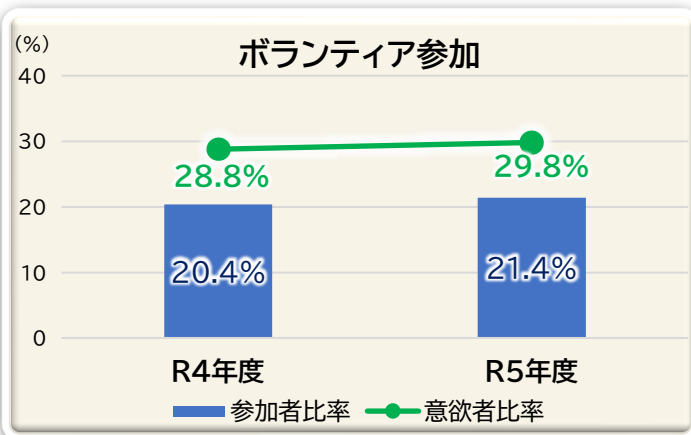


有償・無償ボランティア、創業・起業、生きがいづくりに関する参加実態・支援ニーズを正確に把握する。

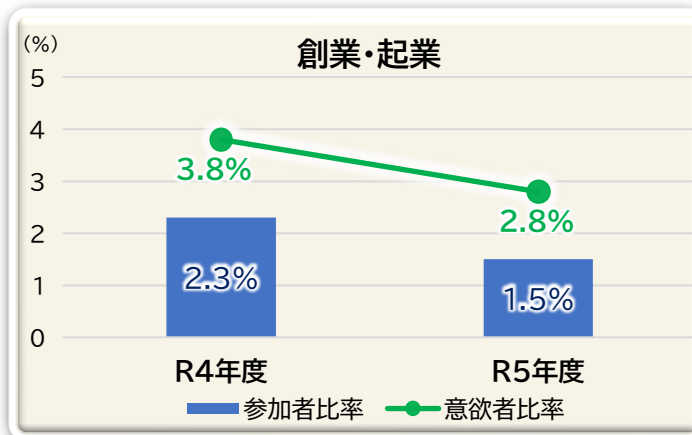
### a) 調査実行の確認・検証

・有償・無償ボランティア、「創業・起業」、「生きがいづくり」に関し、昨年度と異なる対象者に同様調査設問(Total 15設問)にて短期間内(12カ月以内)に再度、参加実態・支援ニーズの調査を実施することで調査精度を向上させる。

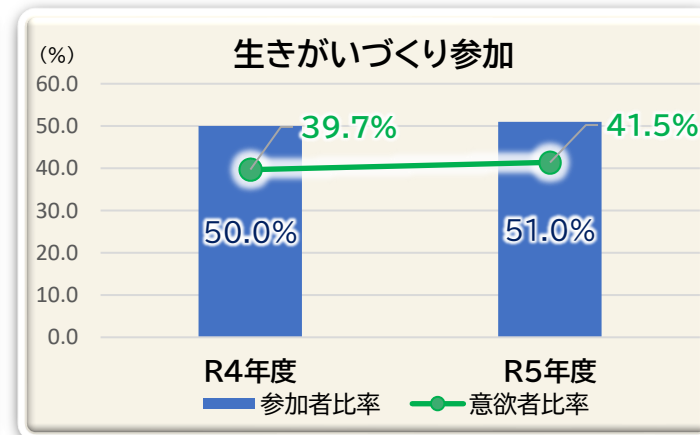
### b) 新たな活躍支援手段への参加意欲・支援ニーズ



・「参加者比率」: +1.0ポイント  
・「意欲者比率」: +1.0ポイント



・「参加者比率」:  $\Delta 0.8$ ポイント  
・「意欲者比率」:  $\Delta 1.0$ ポイント



・「参加者比率」: +1.0ポイント  
・「意欲者比率」: +1.7ポイント

### c) 考察

・「ボランティア参加」「創業・起業」「生きがいづくり」の「参加者比率」「意欲者比率」は、前回(令和4年11月)の調査結果との比較において、共に僅少差(1ポイント程度)の乖離であり、十分な精度により状況把握が出来ている事が確認できた。よって現状の実行計画を継続的に進める。

## 6-③ 確認・検証項目 Ⅲ

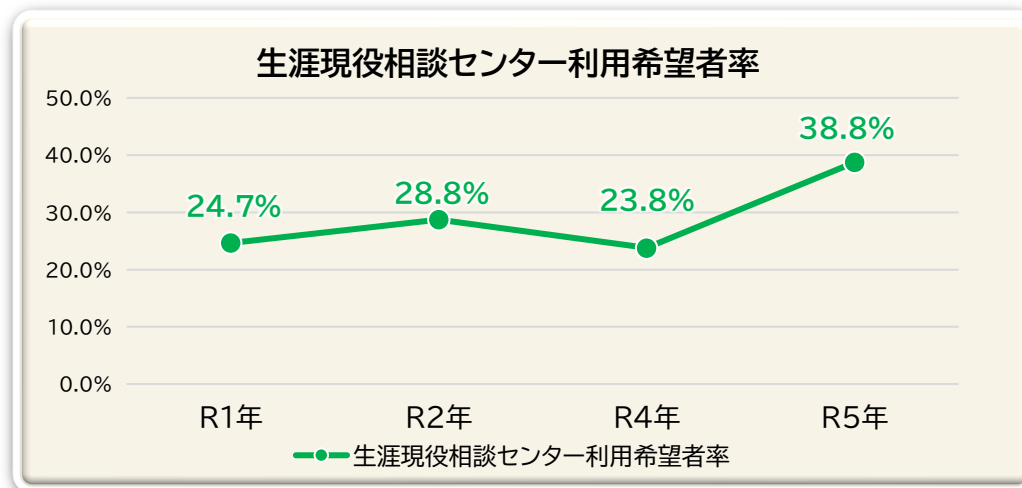
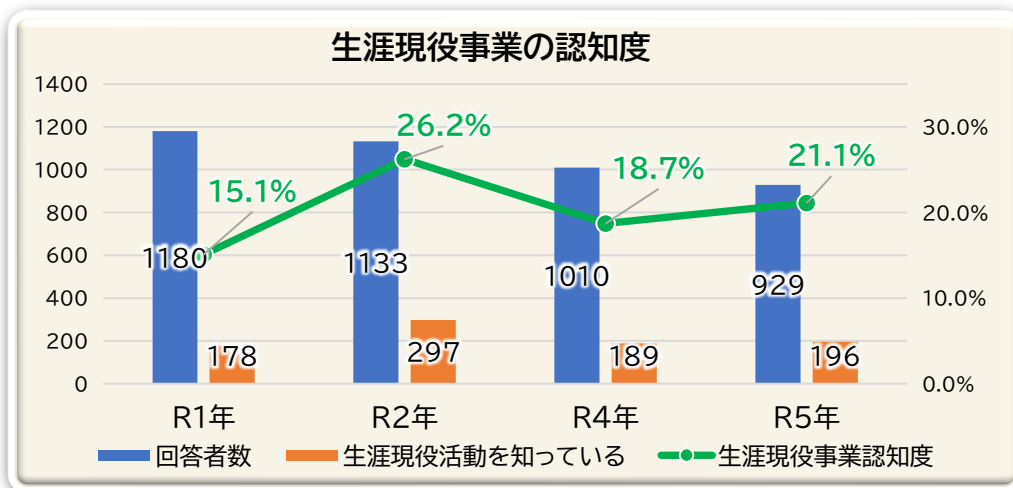


地域における生涯現役事業の知名度と定着度等、生涯現役風土づくりの状況を把握する。

### a) 調査実行の確認・検証

・創業支援協議会 生涯現役環境づくり部会について、過去4回調査と同様の調査設問(Total 5設問)にて地域における生涯現役事業の知名度・定着度及び生涯現役風土づくりの状況を把握した。

### b) 生涯現役事業の知名度・定着度



### c) 考察

- ・「生涯現役環境づくり部会」の認知度に関しては、令和4年度比 2.4ポイント回復したが地域連携事業からの活動組織名称変更の影響を克服するまでには至っていない。
- ・生涯現役事業認知(知っている)者における生涯現役相談センターの利用希望者率は38.8%と大幅(前年比、15.0ポイント)に増加しており、プラットフォーム機能(構成団体)とのコラボ活動や地域マスメディアを通じた周知活動による着実な活動定着を実感できる。

# 7

## 令和5年度 生涯現役環境状況調査の総括



## 7-① 調査結果の総括

今回の生涯現役環境状況調査では、回答率目標(40%)には及ばないまでも**37.2%の高い回答率**となり、目的である**下記3項目の検証**による**今後の活動ポイント・方向性を明らかにする**ことができた。

- ① 高年齢者雇用安定法の改正に伴う、**定年年齢の引き上げ、延長雇用制度の拡大等、シニア世代における就労環境の変化**を背景に**就労意欲・就労支援ニーズを前年と異なる時期に調査し、比較することにより調査内容の精度を向上させる。**
- ② 有償・無償ボランティア、創業・起業、生きがいづくりに関する**参加実態・支援ニーズを正確に把握する。**
- ③ 地域における**生涯現役事業の知名度と定着度等、生涯現役風土づくりの状況**を把握する。

### ◎ 生涯現役環境づくり事業の必要性

#### ◇シニア世代の就労意欲・求職者の状況

過去4回の調査を通じて**シニア世代(60歳以上)人口の約98%を対象とした調査を完了した。**

令和3年度の高年齢者雇用安定法の改正により、シニア世代の就労実態は令和4年度調査で就労者率が60%を超え、今回の調査では微減であるが**57.8%と高い就労者率を維持**しており、今後も約60%程度で推移すると推測される。

また、**調査時時点の就労希望者比率(就活中)も回復傾向(約+0.6ポイント)**にあり、生涯現役環境づくり事業による就労支援の必要性・重要性を再認識した。

#### ◇シニア世代における活躍手段の多様性支援ニーズ

「ボランティア参加」「創業・起業」「生きがいづくり」に関しては、**「参加者比率」「意欲者比率」共に前回調査(R4年11月)結果との大きな乖離は無く、精度ある調査結果であることが確認できた。**

調査時点における**「ボランティア活動」「生きがいづくり活動」希望者 約4%(推定:約400人)の支援ニーズが確認できた。**

また、**「創業・起業」では、推定で約40人のシニア世代(60歳以上)が創業・起業に積極的である事が明らかとなった。**

### ◎ 分析により抽出された新たな課題

#### ◇相談センター利用希望者の増加

生涯現役事業の知名度・認知度調査において**「相談センター利用希望者」が大幅増(+15.0ポイント)となった。**

地域における生涯現役活動の知名度・認知度を実感できる一方で**潜在的な相談センター利用希望者を「どのように来所を促すか」**が課題となる。



ありがとうございました。